

産業界向け「富岳」利用マニュアル

2025年10月1日
ver3.02

理化学研究所 計算科学研究センター「富岳」Society 5.0推進拠点／
株式会社JSOL／株式会社理研数理

目次

[産業利用を想定した「富岳」の資源配分](#)

[「富岳」の産業利用の流れ](#)

[\(1\) 課題の種類を選ぶ](#)

[「富岳」産業向けの課題の種類の概要](#)

[課題の種類の選び方](#)

[ファーストタッチオプションとは](#)

[有償利用時に受けられる付加サービス](#)

参考：[「富岳」一般向けの課題の種類の概要](#)

[一般/産業試行有償課題の料金目安](#)

[「富岳」産業有償課題の料金目安](#)

[利用資源量と料金の関係例](#)

[「富岳」有償利用時の料金の簡易計算ツール](#)

[\(2\) 課題を申請する](#)

I. [HPCI-IDを取得する](#)

II. [申請書類を作成する](#)

III. [「HPCI申請支援システム」から課題申請を行う](#)

[\(3\) 選定結果を受け取る](#)

[\(4\) 利用の準備をする](#)

[アカウント発行と課題開始時の手続き](#)

[富岳アカウント申請システム](#)

[\(5\) 「富岳」を利用する](#)

[クライアント証明書をインストールする](#)

[「富岳ウェブサイト」を利用する](#)

[「富岳」Open OnDemandを利用する](#)

[ローカルアカウントで「富岳」にログインする](#)

[「富岳」にファイルを転送する](#)

[Oracle Cloud Infrastructureとの連携](#)

[バーチャル富岳の試験環境（サテライト富岳）](#)

[「富岳」で動作することが確認された商用ソフトウェア](#)

[「富岳」で無償で利用できるソフトウェア](#)

[\(6\) 利用報告書を提出する](#)

[\(7\) 成果公開を行う](#)

[支援サービス](#)

[希望者が受けられる支援](#)

[伴走型利用支援](#)

[事業者による支援サービス](#)

[各種情報](#)

[HPCIアクセスポイント](#)

[「富岳」利用に関する情報・相談窓口](#)

[「富岳」のサービスレベル目標](#)

[参考資料](#)

参考資料 1：[「富岳」の利用イメージ](#)

参考資料 2：[「富岳」産業利用申請チェックリスト](#)

参考資料 3：[「富岳」の全体構成](#)

参考資料 4：[「富岳」の計算ノード](#)

参考資料 5：[ストレージ構成](#)

参考資料 6：[「富岳」利用に関係する機関と役割](#)

産業利用を想定した「富岳」の資源配分

産業利用を想定し「富岳」の資源を配分。

Society 5.0の実現に資する課題を実施する枠を新設し、産業利用のさらなる利用を促進中。

「富岳」利活用促進の基本方針(R2.7.17文科省通知)



※『課題』とは「富岳」で実施する“プロジェクト”の意味。

| 利用枠 | 配分 | 資源配分の考え方 |
|--------------------|-----|--|
| 一般利用 | 40% | <ul style="list-style-type: none"> 主としてアカデミアによる利用を想定。 公募により、「富岳」の機能・性能を有効に活用する、幅広い研究課題を科学的見地から審査した上で、採択。 |
| 産業利用 | 10% | <ul style="list-style-type: none"> 産業界による利用を想定。 公募により、「富岳」の機能・性能を有効に活用する、幅広い課題を科学的、社会経済的見地から審査した上で採択。 |
| Society 5.0 推進利用課題 | 5% | Society 5.0 の実現に資する課題を実施する枠。 (例：産業界のコンソーシアム、産学連携による利用などを想定) |
| 成果創出加速 | 40% | 「富岳」成果創出加速プログラムで採択された課題等、特に、科学的・社会的課題の解決に直結する成果の創出が早期に見込める研究課題を実施。 |
| 調整高度化利用促進 | 10% | 「富岳」の運用機関であるR-CCSが中心となって、安定運用のためのシステム調整に必要な取組、幅広いユーザーの利用に資する高度化研究・利用支援、計算科学の先導的研究開発等を実施。 |
| 政策対応 | 枠外 | 政策的に重要又は緊急と認められる課題（例：感染症対策、気象・防災分野、国が実施する他の研究開発プロジェクトでの利用、計算分野の国際連携に資する利用等）を柔軟に実施。 |

「富岳」の産業利用の流れ



「富岳」の産業利用の流れ

「富岳」は国の法律で定められた共用施設で、国内外の研究者や、国内の企業等が広く利用できる。利用にあたっては課題申請を行い、審査・選定を経て利用する。利用後は利用報告書、等の提出が必要。
※『課題』とは「富岳」で実施する“プロジェクト”の意味。

| | |
|----------------|---|
| (1) 課題の種類を選ぶ | 目的に合った課題の種類を選択する。 |
| (2) 課題を申請する | 「HPCI申請支援システム」から課題を申請する。 |
| (3) 選定結果を受け取る | 「特定高速電子計算機施設の利用研究課題選定に関する基本的考え方」に基づき審査・選定され、選定結果がメール通知される。 |
| (4) 利用の準備をする | <ul style="list-style-type: none"> ・「課題情報の開示に関する同意確認」の実施。 ・「富岳アカウント申請システム(FAAS)」にてアカウント発行の手続きを実施。 ・課題代表者は課題開始時の手続きを実施。 |
| (5) 「富岳」を利用する | <ul style="list-style-type: none"> ・クライアント証明書のインストール、秘密鍵・公開鍵の作成 ・「富岳」へのアクセスと利用 |
| (6) 利用報告書を提出する | 課題終了後、60日以内に利用報告書を提出する。 |
| (7) 成果公開を行う | 論文発表等の成果公開を行う。（※特定の課題の種類のみ） |

RISTによる支援サービス

(一財)高度情報科学技術研究機構(RIST)が支援

利用前
相談

利用中の
相談・支援

高度化
支援

伴走型
利用支援

参考：(2) 課題申請～(5) 利用開始の手続きとチェック項目は、[「富岳」産業利用申請チェックリスト ～ファーストタッチオプション～](#)を参照。

出典：https://fugaku100kei.jp/industrial_user/#a04

(1) 課題の種類を選ぶ



「富岳」産業向けの課題の種類概要

「富岳」の産業向けの課題は、募集時期、募集対象（利用目的）、資源量、有償・無償、により下記の種類がある。
 詳細は、各課題の募集要領を参照。： https://www.hpci-office.jp/pages/project_categories_industrial
 ※「富岳」アプリケーションサービス課題については『「富岳」アプリケーションサービス課題利用マニュアル』を参照。
 ※資源量は、「ノード時間（NH）＝ 計算に使用するノード数 × 計算時間(単位：時間)」で算出。

| 概要 | 定期募集課題 | 随時募集課題 | | | | |
|--------------|--|---|---|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 産業課題 | 産業機動的課題 | 産業試行課題 | ファーストタッチオプション | 産業有償課題 | 産業試行有償課題 |
| (1)募集対象 | 産業界による利用を想定した、「富岳」の機能・性能を有効に活用し、研究開発に資する課題。 | 産業界による利用を想定した、小規模ではあるが、機動的な利用により成果の創出を狙う研究開発に資する課題。 | 産業界による利用を想定した、アプリケーションの実行、動作検証、性能評価、自社の課題を試行する研究開発に資する課題。 | | 産業界による利用を想定した、研究開発に資する課題。 | 産業界による利用を想定した、「富岳」利用の検討および準備を行う小規模な資源を利用する課題(アプリケーションの実行、動作検証や性能評価を含む)。 |
| (2)要求資源量の上限値 | 500万NH/年 (250万NH/半期) ※コンソーシアム型は 800万NH/年 (400万NH/半期) | 100万NH | 10万NH | 1,000NH (固定) | 500万NH ※コンソーシアム型は 800万NH | 10万NH |
| (3)募集時期 | 年2回 | 随時(採択は年4回) | 随時 | | | |
| (4)利用期間 | 1年 | 最長1年 | 最長6ヶ月 | 最長3ヶ月 | 原則1年まで (プロジェクトに応じて最長2年) | 最長6ヶ月 |
| (5)利用料金 | 無償 | | | | 有償 | |
| (6)利用回数 | 同一テーマによる複数回利用は不可 | | 同一テーマの複数回利用を可とし、利用回数の上限は設けない | | | |
| (7)審査結果 | 申請締切から、約3.5ヶ月後に 結果を通知 | 申請締切から、約1.5ヶ月後に 結果を通知 | 申請受付から約2週間後に 結果を通知 | 申請受付から3営業日程度で 結果を通知 | 申請受付から、約1.5ヶ月後に 結果を通知 | 申請受付から約2週間後に 結果を通知 |
| (8)利用報告書 | 通常版を提出 | | 簡易版を提出 | 簡易版をさらに簡単にした様式 でWeb申請 | 簡易版を提出 | |
| | HPCIポータルサイトにて公開 | | | | 公開または非公開を選択可能 | |
| (9)成果公開 | 論文発表等による成果公開義務あり | | 論文発表等による成果公開義務なし | | | |

※有償課題では、優先実行などの付加サービスが用意されている。

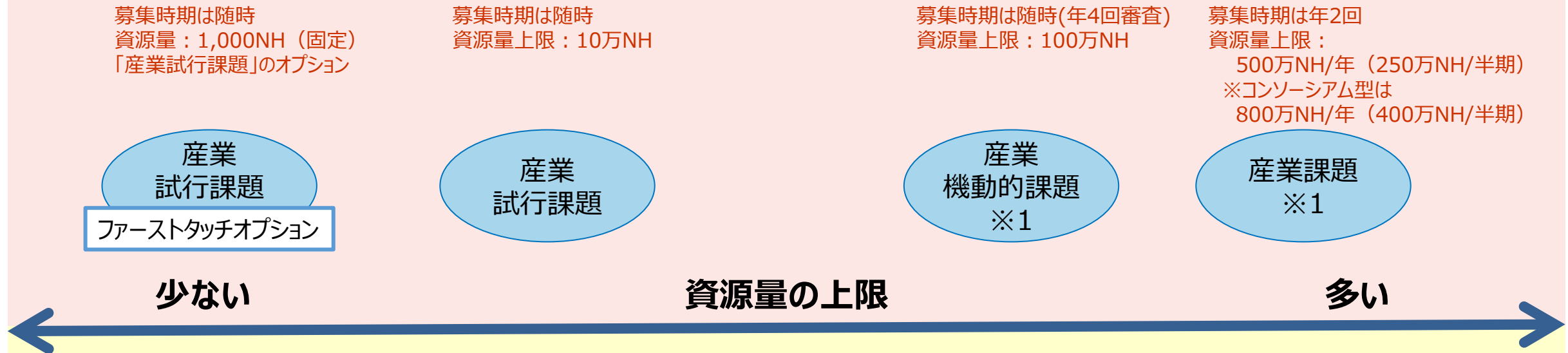
※「富岳」は課題単位で5TBの第2階層ストレージ(ローカルストレージ)が初期値として割当てられ、課題採択後の申請により拡大可能。

※産業課題と産業機動的課題には一律にHPCI共用ストレージが割当てられる。ただし、一律の割当てよりも多くの容量を希望する場合はその容量を申請する。

課題の種類を選び方

割り当てられる資源量の上限と、利用報告書の公開／非公開の選択可否で課題の種類を整理。
※注意：「利用報告書の公開/非公開」と「成果公開(論文発表等)」は別です。

利用報告書の公開（必須）



【凡例】

無償

有償

※1：「産業課題」と「産業機動的課題」
は査読付き論文や特許等による
成果公開が必要

募集時期は随時
資源量上限：10万NH

産業試行
有償課題

募集時期は随時
資源量上限：500万NH/年
※コンソーシアム型は800万NH/年

産業
有償課題

利用報告書の公開／非公開の選択可

ファーストタッチオプションとは

「産業試行課題」と「一般試行課題」では少量資源利用時にファーストタッチオプションの利用が可能。
 利用手続きが従来のものから簡素化され、必須入力項目も少なく、審査も迅速に行われる。
 詳細は募集要領を参照。https://www.hpci-office.jp/materials/fugaku_trial_boshu_youryo_j.pdf

| | |
|---------|---|
| オプション名 | ファーストタッチオプション |
| 利用目的 | アプリケーションの実行、動作検証、性能評価を目的とした利用 |
| 募集対象課題 | 「富岳」一般試行課題、「富岳」産業試行課題 |
| 計算資源量 | 課題あたり1,000NH（固定） |
| 利用期間 | 最長3か月 |
| 利用料金 | 無償 |
| 利用回数 | 同一テーマによる複数回の利用可。ただし、期間が重複する利用は不可。 |
| 審査結果の通知 | 受付後、3営業日程度 |
| 手続きの特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題申請：Webから課題申請。入力項目は少なく、申請書類の添付は不要。 ・課題審査：Web入力内容に基づき迅速に資格審査を実施。 ・利用報告書の提出：Webから利用報告書（実施内容と実施結果）と利用者アンケートに選択式で回答する簡単な手続き。利用報告書はWebで公開、利用者アンケートの回答は非公開。 |

出典：https://www.hpci-office.jp/using_hpci/proposal_submission_current/fugaku_trial

有償利用時に受けられる付加サービス

「富岳」を有償利用する場合、付加サービスを受けることができる。

「占有利用」「利用報告書の公開／非公開※」は課題申請時に選択する必要がある。

※利用報告書の非公開を選択した場合は、**採択結果などの公開時に課題名、課題代表者名、所属機関名が非公開**となる。

- 有償利用には無償利用では実施できない、以下のメリットがあります。

【実行時のメリット】

- 「富岳」が混みあっているときでも、ジョブが最小の待ち時間で実行されます。

標準でジョブ実行の
優先度を高く設定

待ち時間の短縮で
効率よく利用可能

優先実行

- 「富岳」を48ノード(4 Tofu = 1 シェルフ)×半年の単位で占有することも可能。
(占有利用の利用料金が適用されます。有償課題のみ選択可能。)

通常の共有利用を
占有に選択可能

待ち時間ゼロでリアル
タイム処理等に最適

占有利用

- ジョブの実行開始時刻を指定し、希望の時刻に実行することが可能。
(該当するジョブ実行分の資源量を2倍消費します。試行有償課題のみ利用可能。)

ジョブ実行時に開始
時刻の指定が可能

優先的に希望の時刻での
ジョブ実行が可能

ジョブ実行開始
時刻指定

- 当初の利用期間内であれば、1回に限り当初の配分資源量までの追加が可能。

当初資源量を上限と
して資源追加が可能

見積り性能との差異が判明し
ても資源の増量が可能

資源量の追加

【利用報告のメリット】

- 利用報告書は、A4版1頁程度の簡易なフォーマットを適用、さらに公開／非公開を選択可能（利用報告書の公開時は利用料金が半額）

公開／非公開
を選択可能

利用報告書を非公開としたい
課題も実施が可能

利用報告書の
公開/非公開選択

参考：「富岳」一般向けの課題の種類概要

「富岳」の一般向けの課題の種類概要は下記の通り。詳細は各課題の種類募集要領を参照。

※課題の種類：https://www.hpci-office.jp/using_hpci/project_categories_general

| 概要 | 定期募集課題 | | 随時募集課題 | | | | |
|------------------|---|----------------------------|---|--|----------------------|--------------------------------|---|
| | 一般課題 | 若手課題 | 一般機動的課題 若手機動的課題 | 一般試行課題 | ファーストタッチオプション | 一般有償課題 | 一般試行有償課題 |
| (1)募集対象 | 主として学術界による利用を想定した、「富岳」の機能・性能を有効に活用する課題。産業界からの応募も可能。 | 一般課題と同様。課題開始時点で39歳以下であること。 | 小規模ではあるが、機動的な利用により成果の創出を狙う課題。若手機動的課題は課題開始時点で39歳以下であること。 | 主として学術界による利用を想定した、「富岳」の利用環境においてアプリケーションの実行、動作検証、性能評価を試行する課題。 | | 主としてアカデミアによる利用を想定した有償にて実施する課題。 | 「富岳」利用の検討および準備を行う小規模な資源を利用する課題(アプリケーションの実行、動作検証や性能評価を含む)。 |
| (2)要求資源量 の上限値 | 1,500万NH/年 (750万NH/半期) ※令和6年度A期から | 500万NH/年 (250万NH/半期) | 100万NH | 10万NH | 1,000NH (固定) | 1000万NH | 10万NH |
| (3)募集時期 | 年2回 | | 随時(採択は年4回) | 随時 | | | |
| (4)利用期間 | 1年 | | 最長1年 | 最長6ヶ月 | 最長3ヶ月 | 原則1年まで(プロジェクトに応じて最長5年) | 最長6ヶ月 |
| (5)利用料金 | 無償 | | | | | 有償 | |
| (6)利用回数 | 同一テーマによる複数回利用は不可 | | | 同一テーマの複数回利用を可とし、利用回数の上限は設けない | | | |
| (7)審査結果 | 申請締切から、約3.5ヶ月後に結果を通知 | | 申請締切から、約1.5ヶ月後に結果を通知 | 申請受付から約2週間後に結果を通知 | 申請受付から3営業日程度で結果を通知 | 申請受付から、約1.5ヶ月後に結果を通知 | 申請受付から約2週間後に結果を通知 |
| (8)利用報告書 | 通常版を提出 | | | 簡易版を提出 | 簡易版をさらに簡単にした様式でWeb申請 | 簡易版を提出 | |
| | HPCIポータルサイトにて公開 | | | | | 公開または非公開を選択可能 | |
| (9)成果公開 | 論文発表等による成果公開義務あり | | | 論文発表等による成果公開義務なし | | | |

※有償課題では、優先実行などの付加サービスが用意されている。

※「富岳」は課題単位で5TBの第2階層ストレージ(ローカルストレージ)が初期値として割当てられ、課題採択後の申請により拡大可能。

※一般課題・若手課題、一般機動的課題・若手機動的課題には一律にHPCI共用ストレージが割当てられる。ただし、一律の割当てよりも多くの容量を希望する場合はその容量を申請する。

一般/産業試行有償課題の料金目安

一般/産業 試行 有償課題

※金額は税込み

| 課題種類 | 利用 報告書 | ノード 利用 方式 | 課金方法 | 配分資源量 (ノード・時間：NH) | 単価 (NHあたり) | 基礎料金 (ベース料金) | 料金算出式 (ベース料金+資源量・NH) | 料金目安 | |
|-----------------|-----------|-----------------|------|----------------------|---------------|-----------------|-------------------------|-------|---------|
| | | | | | | | | 使用資源量 | 料金 |
| 一般/産業 試行有償課題 | 非公開 | 共有 | 従量制 | ～ 100,000 | 98.64円 | - | 98.64円×NH | 10万NH | 9,864千円 |
| | | | 定額制 | ～ 100,000 | 65.76円 | - | 65.76円×NH | 10万NH | 6,576千円 |
| | 公開 | | 従量制 | ～ 100,000 | 49.32円 | - | 49.32円×NH | 10万NH | 4,932千円 |
| | | | 定額制 | ～ 100,000 | 32.88円 | - | 32.88円×NH | 10万NH | 3,288千円 |

※料金は必要に応じ、見直しを行うことがあります。

- 試行課題における配分資源量の**上限は10万NH**です。
- 利用報告書を公開する場合は、利用料金の単価が**0.5倍**になります。
- 試行課題におけるノード利用方式は、**共有のみ**になります。
- 課金方式は、**従量制または定額制のいずれかを申請時に選択**します。(申請後は変更できません。)
- 従量制と定額制の違い
 - 従量制は実際に使用した資源量に応じて料金が決定します。
 - 定額制は課題採択時に決定した配分資源量に応じて料金が決定します。
 - 従量制の単価は定額制の**1.5倍**です。

□ 配分資源量から料金を計算、または、料金の予算額から配分資源量を計算するサイトを公開しています。

https://www.hpci-office.jp/pages/fugaku_price

Ver. 1.3 (2025/2/28)

出典 : https://www.hpci-office.jp/download_file/view/836cb1af-88e2-4b41-a7f4-1f3211f0df2c/573

「富岳」産業有償課題の料金目安

産業有償課題

※金額は税込み

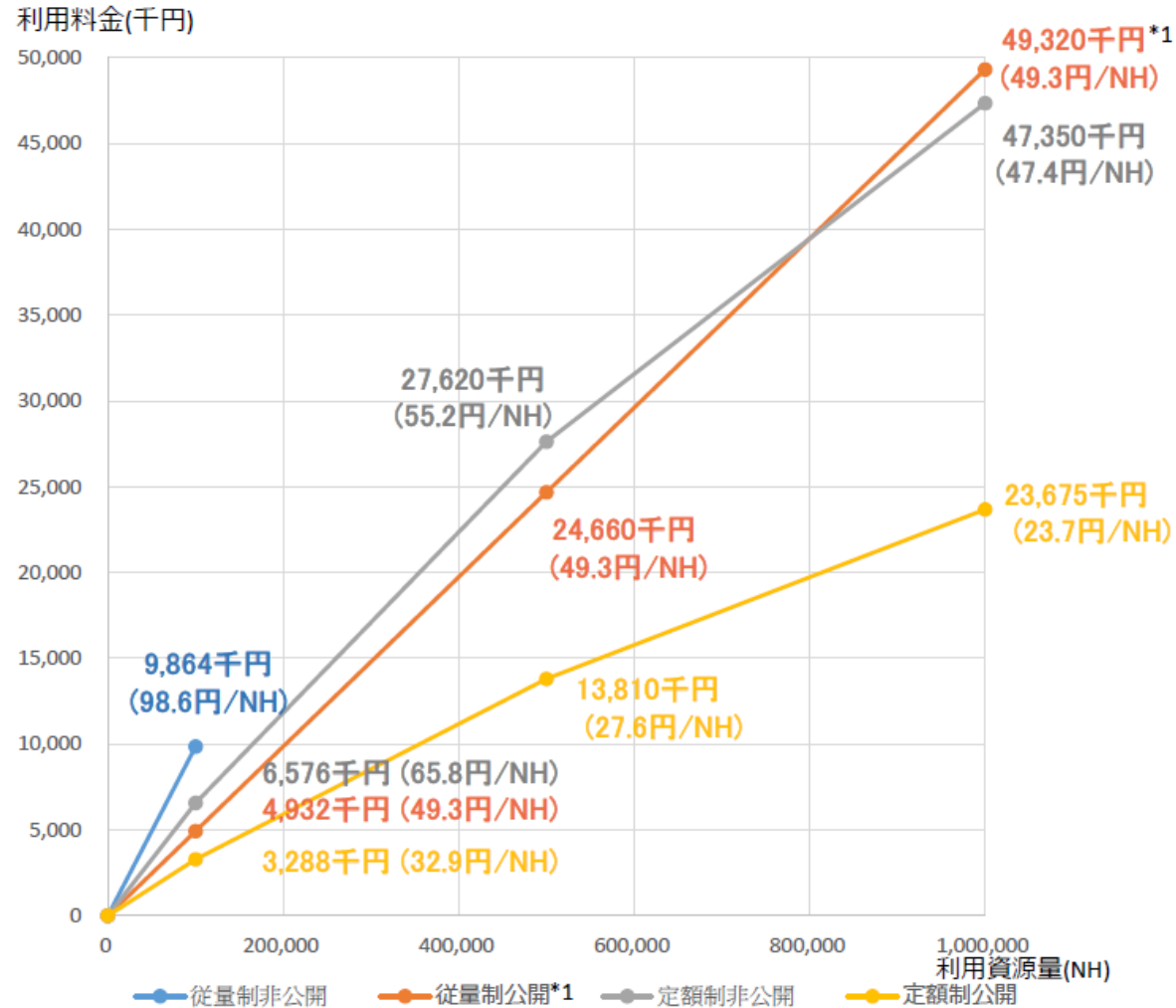
| 課題種類 | 利用 報告書 | ノード 利用 方式 | 課金方法 | 配分資源量 (ノード・時間 : NH) | 単価 (NHあたり) | 基礎料金 (ベース料金) | 料金算出式 (ベース料金+資源量・NH) | 料金目安 | |
|--------|-----------|-----------------|------|---------------------------------------|---------------|-----------------|-------------------------|--------------------|-----------|
| | | | | | | | | 使用資源量 | 料金 |
| 産業有償課題 | 非公開 | 共有 | 従量制 | ～ 100,000 | 98.64円 | - | 98.64円×NH | 10万NH | 9,864千円 |
| | | | 定額制 | ～ 100,000 | 65.76円 | - | 65.76円×NH | 10万NH | 6,576千円 |
| | | | | 100,001 ~ 500,000 | 52.61円 | 1,315,000円 | 1,315,000円+52.61円×NH | 50万NH | 27,620千円 |
| | | | | 500,001 ~ 1,000,000 | 39.46円 | 7,890,000円 | 7,890,000円+39.46円×NH | 100万NH | 47,350千円 |
| | | | | 1,000,001 ~ 5,000,000 | 26.30円 | 21,050,000円 | 21,050,000円+26.30円×NH | 500万NH | 152,550千円 |
| | | | | ※コンソーシアム型の場合 1,000,001 ~ 8,000,000 | | | | コンソーシアム型 800万NH | 231,450千円 |
| | | 占有 | 定額制 | 48ノード・半年(199,728NH) を1単位とし単位毎 | (115.80円) | - | 23,128,502円×単位 | 1単位 (199,728NH) | 約23,129千円 |
| | 公開 | 共有 | 従量制 | ～ 100,000 | 49.32円 | - | 49.32円×NH | 10万NH | 4,932千円 |
| | | | 定額制 | ～ 100,000 | 32.88円 | - | 32.88円×NH | 10万NH | 3,288千円 |
| | | | | 100,001 ~ 500,000 | 26.305円 | 657,500円 | 657,500円+26.305円×NH | 50万NH | 13,810千円 |
| | | | | 500,001 ~ 1,000,000 | 19.73円 | 3,945,000円 | 3,945,000円+19.73円×NH | 100万NH | 23,675千円 |
| | | | | 1,000,001 ~ 5,000,000 | 13.15円 | 10,525,000円 | 10,525,000円+13.15円×NH | 500万NH | 76,275千円 |
| | | | | ※コンソーシアム型の場合 1,000,001 ~ 8,000,000 | | | | コンソーシアム型 800万NH | 115,725千円 |
| | | 占有 | 定額制 | 48ノード・半年(199,728NH) を1単位とし単位毎 | (57.9円) | - | 11,564,251円×単位 | 1単位 (199,728NH) | 約11,564千円 |

- 配分資源量の上限は500万NH(コンソーシアム型は800万NH)です。
- 利用報告書を公開する場合は、利用料金の単価が0.5倍になります。
- 課金方式は、従量制または定額制のいずれかを申請時に選択します。(申請後は変更できません。) なお、従量制は配分資源量が10万NH以下に限り申請可能です。
- ノード利用方式は、共有または占有を申請時に選択します。(申請後は変更できません。)
- ノードを占有して利用した場合の配分資源量について
 - 配分資源量の最小単位は、48N・半年の199,728NHとなります。1年間占有する場合は、48N・1年=199,728NH×2となり、24N・1年という占有はできません。
- 資源追加が1回に限り可能です。また、追加できる資源量は当初配分資源量と同等量を上限とします。
- 配分資源量から料金を計算、または、料金の予算額から配分資源量を計算するサイトを公開しています。 https://www.hpci-office.jp/pages/fugaku_price

Ver. 1.3 (2025/2/28)

利用資源量と料金の関係例(共用利用のケース)

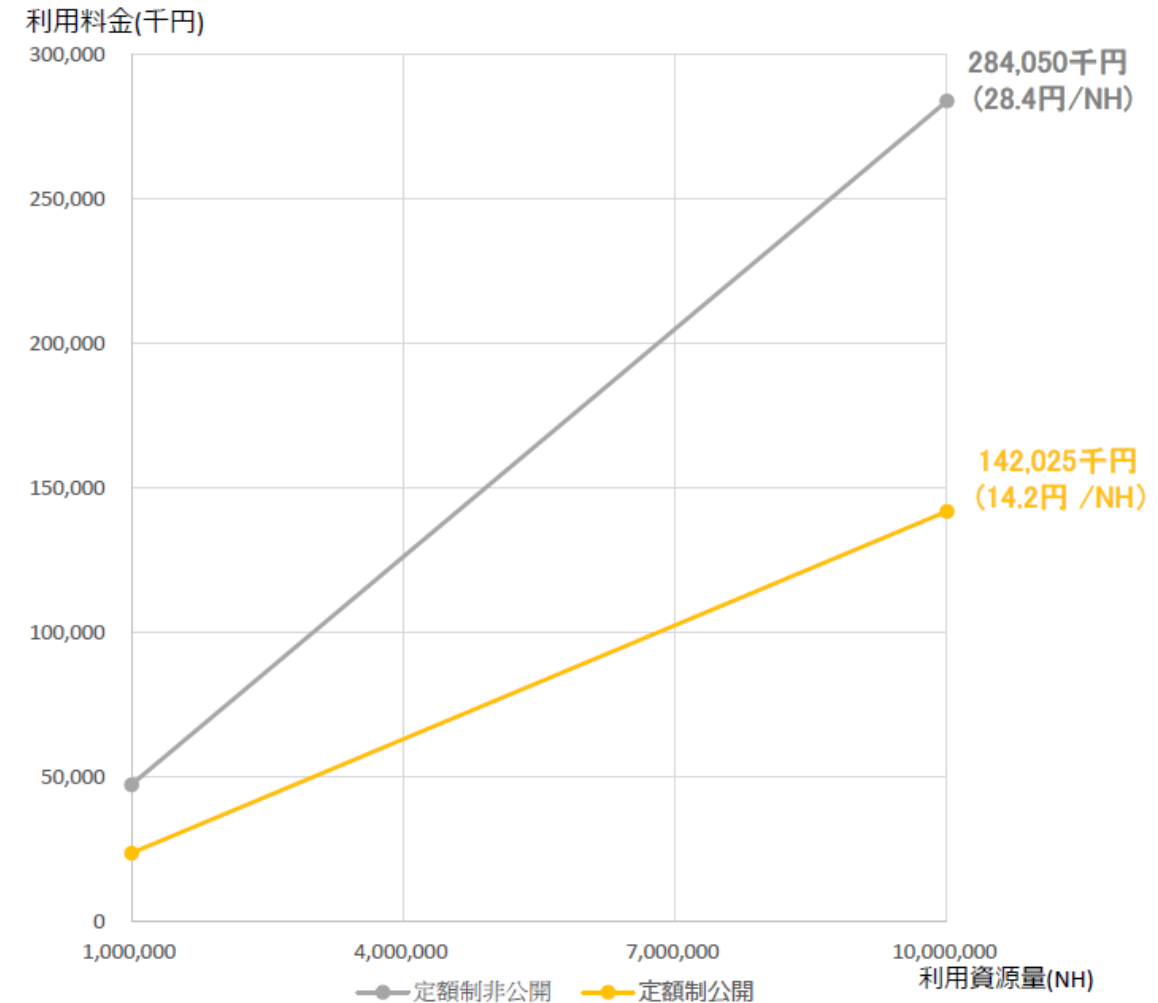
利用資源量が100万ノード時間(NH)以下の場合



資源量 (定額制では配分資源量/従量制では利用資源量)

公開/非公開 : 利用報告書の取り扱い

利用資源量が100万ノード時間(NH)超の場合



利用料金表示 : 丸印の点における利用料金(千円) (平均単価)

*1 従量制の10万NH超は「富岳」アプリケーションサービス課題のみ申請可能

Ver. 1.3 (2025/2/28)

出典 : https://www.hpci-office.jp/download_file/view/836cb1af-88e2-4b41-a7f4-1f3211f0df2c/573

「富岳」有償利用時の料金の簡易計算ツール

「富岳」有償利用時の料金の簡易計算ツールを「HPCIポータルサイト」で公開中。
 配分資源量から料金を計算、または、料金の予算額から配分資源量を計算することが可能。

簡易計算ツール：https://www.hpci-office.jp/pages/fugaku_price

利用料金の簡易計算ツール(共有利用時)

配分(使用)資源量(NH) から 利用料金(円) を計算

(1) 課題種別は

☐ 一般
 ☒ 産業
 ☐ 産業(コンソシアム型)

(2) 利用報告書は

☒ 非公開
 ☐ 公開

(3) 配分資源量は

NH

料金を計算する

利用料金は 6,576,000 円

予算(円) から 利用できる資源量(NH) を計算

(1) 課題種別は

☐ 一般
 ☒ 産業
 ☐ 産業(コンソシアム型)

(2) 利用報告書は

☒ 非公開
 ☐ 公開

(3) 予算は

円

資源量を計算する

利用できる資源量は 15,206 NH

配分資源量から
料金を計算。

料金の予算額から
配分資源量を計算。

15

(2) 課題を申請する



(2) 課題を申請する

「HPCI申請支援システム」の新規課題申請フォームに必要事項を入力し、申請書類を添付の上で申請する。所属長による申請内容の確認をもって、申請完了となる。手続きの流れは以下の通り。

I .HPCI-ID を取得する

課題申請には課題代表者、副代表者、「富岳」利用者全員のHPCI-ID(※1)が必要。未取得者は「HPCI申請支援システム」からHPCI-IDを取得のこと。

II .申請書類を作成する

HPCIポータルサイトから最新の申請書類の様式をダウンロードし、記入要領に従い申請書類を作成する(※2)。

III .「HPCI申請支援 システム」から課題申請 を行う

課題代表者、又は副代表者が「HPCI申請支援システム」から必要事項を入力し、申請書類を添付した上で課題申請を行う(※2)。申請内容を所属長が承認し、課題申請は完了。

※1：個人に1つだけ割り当てられるユニークなID。HPCI-IDは課題申請手続きや、課題の参加者登録の手続きに必要。課題採択後に対面認証による本人確認が必要。

※2：「産業試行課題」のファーストタッチオプションを申請する場合は、申請書類の作成と申請書類の添付は不要。「HPCI申請支援システム」から必要事項を入力し申請する。

I. HPCI-IDを取得する 1/2

HPCI申請支援システムのトップ画面 (<https://www.hpci-office.jp/entry/>) から操作。
 詳細は「HPCIクイックスタートガイド」参照。<https://www.hpci-office.jp/materials/hpci-startguide.pdf>

- ① トップ画面の「メールアドレスによるログイン」をクリック。



- ② 「新規登録」を選択し、メールアドレスを入力して「実行」をクリック。

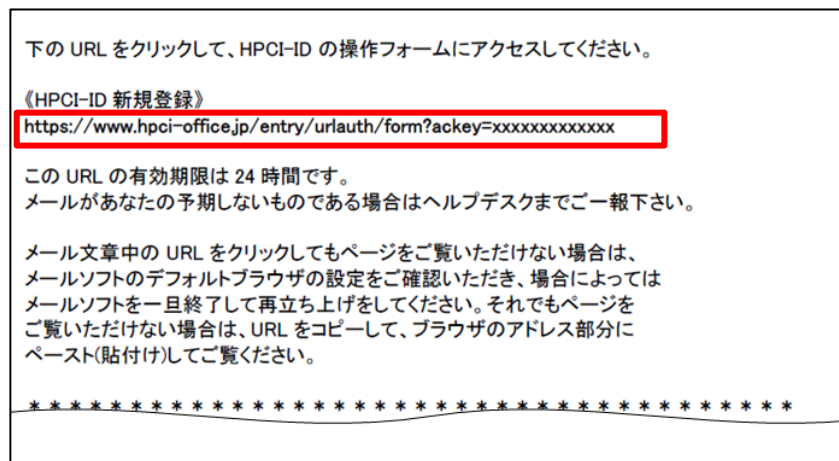


- ③ メール送信完了の画面が表示される。
表示されている「**パスコード**」をメモする。

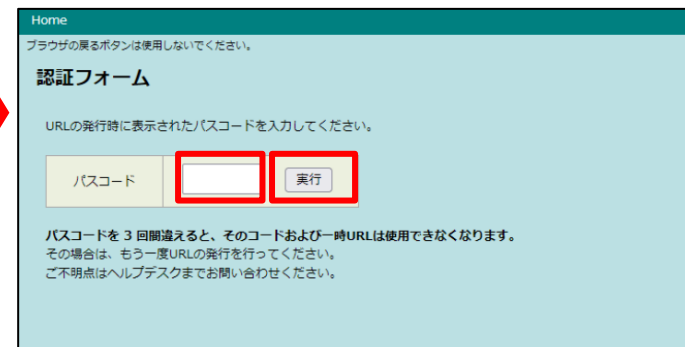


パスコード(6桁数字)は
メールで通知されないため、画面
を閉じる前に必ずメモすること。

- ④ 受信したメールに記載されたURLにアクセスする。



- ⑤ 認証フォームにパスコードを入力し「実行」をクリック。



次ページへ

I. HPCI-IDを取得する 2/2

⑦新規登録フォームに必要事項を入力し「登録」をクリック。

Home

[ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。](#)

[登録情報入力](#)
>
[入内内容確認](#)
>
[登録完了](#)

[ウィックスタートガイド](#)
[\[4.1.1章\]](#)

HPCI-ID新規登録フォーム

HPCI-IDは個人一つずつです。HPCI-IDを既にをお持ちの方で、身分や所属が変わった場合は、[申請支援システム](#)の「HPCI-ID登録内容の変更」から変更して下さい。

| | | | | |
|-----------|-------------------------|----|---|--|
| | 英 文 (半角でご入力ください) | 必須 | Kai Kobe | ① 注意事項 |
| 氏 名 | 和 文 | 任意 | 姓 姓 姓 名 名 名 | ※姓がカタカナと漢字の両方ある場合は両方ご登録下さい。姓欄に入力するためのにも能力「姓」を入力してください。 |
| | IDカードの表記 | 必須 | KEI KOBE | ※姓がカタカナと漢字の両方ある場合は両方ご登録下さい。姓欄に入力するためのにも能力「姓」を入力してください。 |
| 所 属 | 所属機関名 | 必須 | 東京情報科学技術研究機構 (例) ○○大学、○○会社 | ※所属機関に属するIDカードに登録されている正式な機関名を入力してください。 |
| | 部署名 | 必須 | ○○○○部 (例) ○○学部○○学部、○○部○○課 ※部署名/部署名/学部科名を正確に入力してください。(例) 経済学系経済学系。 | ② 期間なし |
| 身 分 | | 必須 | 担当 ※正卒年籍名を入力してください。(例) 経済学系経済学系。学生の場合は、学部/学系、大学院(修士)、大学院(博士)と学系/学系とを入力してください。 | |
| 勤務地連絡先 | 郵便番号 | 必須 | 999-9999 | |
| | 住 所 | 必須 | XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX (例) 東京都○○区○○○-○○-○○○ 株式会社○○○ 〇〇〇部 ※勤務地の住所を入力してください。学生の場合は、大学、高等学院の住所を入力してください。(住所)は入力しないでください。 ※アパート・寮の住所を入力する場合は「所属機関名」および「部署名」は学部・学系を記載してください。但し、「所属機関名、部署名」欄と所属場合は記載不要。 ※住所は入力不要です。 | |
| | 電話番号 | 必須 | 999-9999-9999 | |
| | FAX番号 | 任意 | 999-9999-9999 | |
| | メールアドレス (半角でご入力ください) | 必須 | xxxxx@xxxxxxxxxx.com ※連絡先をリンクするとシステムメールを送ることが出来ます。 | 送信確認 |
| 居住情報 | 国 籍 | 必須 | <input checked="" type="radio"/> 日本 <input type="radio"/> 日本以外 | |
| | 主たる居住地 | 必須 | <input type="radio"/> 日本国内 <input type="radio"/> 国外 | |
| | | 必須 | 居住先 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX <input type="radio"/> 日本勤務 <input checked="" type="radio"/> 海外勤務 <input type="radio"/> 勤務なし ※学生、留学生の方及び卒業後の研究費で所属機関に雇用されていない方は「勤務なし」を選択してください。 国外における所属機関の名称とその住所を入力してください。学生の方は学校名とその住所を入力してください。 所属機関名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 所属機関住所 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX (例) 東京都○○区○○○-○○-○○○ 株式会社○○○ 〇〇〇部 ※住所は入力不要です。 | |
| | | | <input checked="" type="checkbox"/> 国内6か月以上居住 <input checked="" type="checkbox"/> 一時帰国中 | |
| | 日本入国日 (半角でご入力ください) | 必須 | 2020 年 04 月 01 日 | |
| ブラマリスセンター | | 必須 | 理工学研究科 | |

入力いただきました個人情報、HPCIシステムを構成する共同計算資源に係る利用料金定額並びに利用定額に必要な範囲内で検索し利用します。また、個人情報には、アカウント発行を始めるとするHPCIシステムの各種サービス提供に必要の範囲内で、HPCIシステムを構成する機関と共同利用します。

この情報の取り扱いについてご同意の上、登録ボタンを押してください。

☒ 同意する

[登録](#)

⑧HPCI-IDと照合コードが発行される。メールでも通知される。

[Home](#)

ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。

[登録情報入力](#) > [入力内容確認](#) > **【登録完了】**

HPCI-ID新規登録フォーム

HPCI-ID の発行が完了しました。

あなたの HPCI-ID は次のとおりです。なお、この情報はメールでも通知しています。

| | |
|----------------------------|-------|
| HPCI-ID (有効期限) | 照合コード |
| hpci000XXX (2027/09/07) | XXXX |

HPCI-IDの有効期限が経過した場合、HPCI-IDは失効となります。

有効期限が経過する前にHPCI-ID有効期間の更新フォームから有効期限の延長を行ってください。

照合コードは、HPCI-IDの延長時に自動的に変更されます。

続いて課題を申請する場合は、画面上部の HOME ボタンからメニューに戻り、「課題申請・照会」を選択してください。

- **HPCI-ID**
個人に1つだけ割り当てられるユニークなID。
HPCI-IDは課題申請手続きや、課題の参加者登録の
手続きに必要。
課題採択後に対面認証による本人確認を受ける。
- **照合コード**
ランダムに生成された4桁の数値。課題申請時や
課題参加者の登録を行う際にHPCI-IDと照合コード
を同時に入力することで誤入力を防ぐ。照合コードの
漏洩等があった場合は、HPCI-IDの有効期限を更新
することで照合コードの再発行が可能。

Ⅱ. 申請書類を作成する 1/6

申請書類を作成する。課題の種類により必要な申請書類と様式が異なる。
HPCIポータルサイトから最新の様式をダウンロードし、申請書類を作成のこと。
※「産業試行課題」のファーストタッチオプションを申請する場合は申請書類の作成は不要。

| 課題の種類 | 申請に必要な書類 | 最新の申請書類の様式・記入要領が 掲載されたHPCIポータルサイトのページ |
|-------------------|-------------------|--|
| | 課題申請書 (追加シート1) | |
| 産業課題 | ○ | 募集は年2回。HPCIポータルサイト＞利用案内・申請＞課題申請の「現在受付中の課題募集」に課題募集ページへのリンクが掲載される。 https://www.hpci-office.jp/using_hpci/proposal_submission_current ※参考：令和7年度B期の「富岳」利用研究課題の募集ページ https://www.hpci-office.jp/using_hpci/proposal_submission_current/r07b_boshu |
| 産業機動的課題 | ○ | https://www.hpci-office.jp/using_hpci/proposal_submission_current/fugaku_sscale |
| 産業試行課題 | ○ | https://www.hpci-office.jp/using_hpci/proposal_submission_current/fugaku_trial |
| ファーストタッチ オプション | — | 「産業試行課題」のファーストタッチオプションを申請する場合は申請書類の作成は不要。 |
| 産業有償課題 | ○ | https://www.hpci-office.jp/using_hpci/proposal_submission_current/fugaku_fee_bsd |
| 産業試行有償課題 | ○ | |

● 課題申請書（追加シート1）

課題の種類ごとに様式が異なる。Wordで作成。記入要領に従い、募集要領の「利用条件」が明確に読み取れるように記入し、PDF形式に変換の上、HPCI申請支援システムにアップロードして提出する。

Ⅱ. 申請書類を作成する 2/6

課題申請書（追加シート1）の様式：産業課題

令和5年度日本学術振興会 研究課題公募型競争的資金募集要項(速報)(第14号) Ver.1.0(2023.06.01)

| | |
|-----------|-------------------|
| 研究課題代表者名 | 研究課題名、 研究課題代表者 |
| 現上(候補)研究員 | |
| 研究課題代表者名 | 研究課題名、 研究課題代表者 |
| 現上(候補)研究員 | |

重点分野への申請有無 ☐ 重点分野外への申請有無 ☐ 重点分野外への申請有無 ☐ 重点分野外への申請有無

☐ 重点分野外への申請有無 ☐ 重点分野外への申請有無 ☐ 重点分野外への申請有無 ☐ 重点分野外への申請有無

「研究員」は研究機関の専任研究員、若しくは、研究員、社会の機関と連携した研究員等。

重点分野への申請有無 ☐ 重点分野外への申請有無 ☐ 重点分野外への申請有無 ☐ 重点分野外への申請有無

重点分野への申請有無

(重点分野は重点分野外に申請する場合は)

1. 研究の意義

1.1. 研究目的

1.2. 期待される成果と波及効果

令和4年度入国 3DCG 2024年度研究計画書 初稿申請書(追加1) Ver.1.0(2023.08.01)

2 研究計画・方法

2.1 研究計画と方法

令和 6 年度 第 1 回 IT 活用推進型事業計画 実施報告書(第 1 回～11 月) Ver.1.0(2023.03.01)

2. 2 事業計画の利用形態

2. 2. 1 事業計画の種類

(1) 事業計画のタイプ

【事業計画のタイプと連携システムでの事業計画と対応】

| 連携機能あり・事業計画連携 | 連携なし・連携なし | 利用期間 | 利用する事業計画 |
|-------------------|-----------|------|-----------|
| | | | ローカルバージョン |
| 複数の事業計画連携先に利用する場合 | | | |
| | | | ローカルバージョン |

【計算資源あり、事業計画連携先に主たる記入を行う、利用の事業計画は連携システムでの計算資源「クラウド」で Web 上からアクセス可能と対応している。連携先が連携している場合は、連携先の事業計画連携先に「共有年度業務計画」(H1)システム連携 事業計画 共有可能な状態で連携して対応している。共有可能な状態、共有、共有可能な状態で対応している。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdU8-4840-4343-88886661482/4294>

※連携機能あり・事業計画連携 共有可能な状態で連携している場合は、連携先の事業計画連携先に「共有年度業務計画」(H1)システム連携 事業計画 共有可能な状態で連携して対応している。

※連携機能あり・事業計画連携 共有可能な状態で連携している場合は、連携先の事業計画連携先に「共有年度業務計画」(H1)システム連携 事業計画 共有可能な状態で連携して対応している。

【2】事業計画 事業計画連携システムでの事業計画と連携、希望する 2 つの連携先と対応させる

【書き込み利用可能な事業計画の種類と連携】 事業計画の種類は「共有年度業務計画」(H1)システム連携 事業計画 共有可能な状態で連携して対応している。

| 連携機能あり・事業計画連携 | 連携なし・連携なし | 利用期間 | 利用する事業計画 |
|--|-----------|------|-----------|
| | | | ローカルバージョン |
| 複数の事業計画連携先を利用する場合、行単位で連携して対応している。 | | | |
| 【H1】共有年度業務計画の種類と連携 事業計画の種類は「共有年度業務計画」(H1)システム連携 事業計画 共有可能な状態で連携して対応している。 | | | |
| 連携機能あり・事業計画連携 | 連携なし・連携なし | 利用期間 | 利用する事業計画 |
| | | | ローカルバージョン |

複数の事業計画連携先を利用する場合、行単位で連携して対応している。

【2】事業計画の種類

【共有年度業務計画の種類と連携】 事業計画の種類は「共有年度業務計画」(H1)システム連携 事業計画 共有可能な状態で連携して対応している。

| 利用システム | データ名 | データタイプ(共有データ) | システム連携 | 実行期間 |
|--------|------|---------------|--------|------|
| | | | | |

(上表参照(事業計画))

- 2.2.1. 計算機資源
 - ・要求資源サマリ
(第1希望・第2希望)
 - ・利用計画詳細
 - ・課題実施期間
 - ・利用プログラム
 - ・上半期の利用計画

令和 6 年度 第 1 回 第 2 次 補正予算案の概要 経費削減等（第 3-1） No.1302530030

令和 年 月 日 第 回 委員会(第 期) 議事録(第 号)

2.2.4.データマネジメントプランについて

2.2.4.データマネジメントプラン

② データガバナンスの準備状況(個人情報保護委員会からの通知に記入されている)

プログラムの進捗状況、特に重要となる部分については、定期的に更新し、関係者へ共有している。

③ 利用するデータの取扱いと、個人情報の取扱いについて(個人情報保護法に準拠)

2.2.3.プログラムの準備状況

※目標ノード数・推定並列化効率の記載は必須ではない

2.4. 希望する計算資源の必要性(複数の計算資源を利用する場合に必要である理由)

2.4.計算資源の必要性

2.5 実施体制及び要員計画

(組織体制表)

| | 所属先 | 役割 |
|--|-----|----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

2.5.実施体制及び 要員計画

社会科学研究大系 第273 シンポジウム市民社会研究 課題研究募集（通知一） No.1.R2030002

※上記の組織体制表の代わりに組織体制図でも可

(組織体制表)

| 組織体制表 | 所属 | 専門分野 | 計算資料 利用の資格 | 奨励/経験/実績 |
|-------|----|------|---------------|----------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

(要員計画)

- ・組織の体制表
- ・課題参加者
- ・要員計画

3 本申請に関連する研究

3.1 組織との関係

・組織との関係①

・組織との関係②

・組織との関係③

3.本申請に
関連する研究

3.2 関連する研究

(1)関連する①

・関連する研究①

・関連する研究②

・関連する研究③

(2)本学・他大学等との連携する研究計画

・連携する①:

・連携する②:

・連携する③:

・連携する④:

・連携する⑤:

・連携する⑥:

・連携する⑦:

・連携する⑧:

・連携する⑨:

・連携する⑩:

・連携する⑪:

・連携する⑫:

・連携する⑬:

・連携する⑭:

・連携する⑮:

・連携する⑯:

・連携する⑰:

・連携する⑱:

・連携する⑲:

・連携する⑳:

・連携する㉑:

・連携する㉒:

・連携する㉓:

・連携する㉔:

・連携する㉕:

・連携する㉖:

・連携する㉗:

・連携する㉘:

・連携する㉙:

・連携する㉚:

・連携する㉛:

・連携する㉜:

・連携する㉝:

・連携する㉞:

・連携する㉟:

・連携する㊱:

・連携する㊲:

・連携する㊳:

・連携する㊴:

・連携する㊵:

・連携する㊶:

・連携する㊷:

・連携する㊸:

・連携する㊹:

・連携する㊺:

・連携する㊻:

・連携する㊼:

・連携する㊽:

・連携する㊾:

・連携する㊿:

・連携する0:

・連携する1:

・連携する2:

・連携する3:

・連携する4:

・連携する5:

・連携する6:

・連携する7:

・連携する8:

・連携する9:

・連携する10:

・連携する11:

・連携する12:

・連携する13:

・連携する14:

・連携する15:

・連携する16:

令和6年度 入国管理庁入国管理研究試験 試験準備書(通称シート) Ver.1.0(2023.9.08改)

4 研究業績

4.研究業績

5 課題実施の妥当性

・国際的な研究の成果の活用が主目的に関連される等、科学技術・イノベーション基本法や社会連携促進法から国際共同研究課題を承認します。 ☐はい ☐いいえ
 (いかにチェックされた場合「査見」および「FPC」利用審査費をご利用ください(ただしできません。))

5.課題実施の妥当性

若手職員(研究員)の育成

若手職員(研究員)育成のため、国際化研究を主とするテーマの課題参加者の枠組みに記入し、
 申込者は2024年4月1日現在で39歳以下(1984年より2日以前の日付)であることが条件となります。

| 氏名 | 年齢(2024年4月1日現在) |
|----|-----------------|
| | |
| | |

7

Ⅱ. 申請書類を作成する 3/6

課題申請書（追加シート1）の様式：産業機動的課題

「査合」機動的課題（一般／専任／産業） 課題申請書（追加シート1） Ver.1.2 (2022/06/30)

| | |
|----------|--|
| 利用研究課題名 | |
| 頁上（表紙表紙） | |
| 研究課題代表者 | |
| 頁上（表紙表紙） | |

1. 研究の意義

1.1. 研究目的

1.2. 期待される成果と波及効果

「査合」機動的課題（一般／専任／産業） 課題申請書（追加シート1） Ver.1.2 (2022/06/30)

2. 研究計画・方法

2.1. 研究計画と方法

「査合」機動的課題（一般／専任／産業） 課題申請書（追加シート1） Ver.1.2 (2022/06/30)

2. 2 計算資源の利用計画

2.2.1 計算機資源

(1) 要求資源サマリ

| 提供機関名／計算資源名 | 利用する資源量 |
|------------------------|-----------|
| 理化学研究所 計算科学研究センター／「基盤」 | ローカルストレージ |

※計算資源名、計算資源種別等「上」表の記入内容は、下記の算出根拠に基づき申請支援システムに Web 入力するものと一致させてください。（異なる場合は、Web 入力が必要となります）
※ローカルストレージは Web 入力不要で、印刷後に記入されます（印刷後の申請で拡大可能）。

(2) 利用計画詳細

課題実施期間：2024 年 4 月～2024 年 4 月

利用プログラム：

| 利用プログラム | データ名 | データサイズ（換字点数） | タイムスロット数 | 実行実績 |
|---------|------|--------------|----------|------|
| | | | | |

(利用計画)

- 2.2.計算資源の利用計画
- 2.2.1.計算機資源
- ・要求資源サマリ
 - ・利用計画詳細
 - ・課題実施期間
 - ・利用プログラム
 - ・利用計画
 - ・ローカルストレージ利用計画

「査合」機動的課題（一般／専任／産業） 課題申請書（追加シート1） Ver.1.2 (2022/06/30)

2.2.2.HPCI共用ストレージの利用・算出根拠

2.2.3.データマネジメントプラン

2.3.プログラムの準備状況

※目標ノード数・推定並列化効率の記載は必須ではない

2.4.計算資源の必要性

「査合」機動的課題（一般／専任／産業） 課題申請書（追加シート1） Ver.1.2 (2022/06/30)

2.5.実施体制及び要員計画

(組織体制表)

| 組織名 | 役割 |
|-----|----|
| | |

※上記の役割は、組織体制表に記載の役割と一致させること。

(課題参加者)

| 氏名 | 役割 |
|----|----|
| | |

(要員計画)

3. 本申請に関連する研究

3.1 前年度の研究

- ・継続
- ・継続
- ・継続

3.2 関連する研究

(1) 関連する HPCI システム利用研究課題

- ・関連する課題 ID:
- ・関連する課題名:
- ・関連する課題の目標達成状況、実績等:

(2) 大規模実験施設等と連携する研究計画

- ・連携施設名:
- ・課題 ID:
- ・課題名:
- ・概要:

「査合」機動的課題（一般／専任／産業） 課題申請書（追加シート1） Ver.1.2 (2022/06/30)

(3)その他の関連研究

4. 研究業績

5. 課題実施の妥当性

・提案内容の妥当性及び実施の必要性の観点から、科学的・技術的・社会的・経済的・環境的・倫理的・法的・その他（必要に応じて）の観点から、課題の実施が妥当であることを評価してください。

※手続の申請資格確認

※手続に申請する場合、課題代表者を含むすべての課題参加者の年齢をご記入ください。※委員の賛成票の過半数が必要となります。

| 氏名 | 年齢 |
|----|----|
| | |

Ⅱ. 申請書類を作成する 4/6

課題申請書（追加シート1）の様式：産業試行課題

※「産業試行課題」「一般試行課題」のファーストタッチオプションを申請する場合は申請書類の作成は不要。

「富岳」試行課題（一般／産業）（追加シート1） Ver.1.3 (2022/8/30)

| | | | |
|----------|--------------|---------|--|
| 利用研究課題名 | 研究課題名、 | | |
| 同上（英語表記） | | | |
| 研究課題代表者 | 所属: | 研究課題代表者 | |
| 同上（英語表記） | Affiliation: | Name: | |

1. 研究計画と方法

1.研究計画と方法

2. 資源利用計画

| 利用プログラム | |
|---------|-------------------|
| 利用プログラム | 最大実行予定ノード数 |
| | 利用実機（計算対象・実行計算機等） |
| | |
| | |

2.資源利用計画

・利用プログラム

・要求資源量

・ノード時間

・ローカルストレージ容量

要求資源量

| 提供機関名／計算資源名 | 利用する資源量 |
|------------------------|---------|
| 理化学研究所 計算科学研究センター／「富岳」 | |

※計算資源名、計算資源量合計は表の左側の欄に記入してください。右側の欄はWeb入力するものと一致させてください。（異なっている場合は、Web入力が優先されます）

※ローカルストレージはWeb入力不要で、初期値が割当てられます（提供後の申請で拡大可能）。

1

「富岳」試行課題（一般／産業）（追加シート1） Ver.1.3 (2022/8/30)

計算資源量の算出根拠

ローカルストレージの算出根拠

・計算資源量の算出根拠

・ローカルストレージの算出根拠

3. HPCI 共用ストレージ要求使用量: GB（必要時のみ記入）

算出根拠:

3.HPCI共用ストレージ
要求使用量・算出根拠

4. 実施体制

| 課題参加者 | 所属 | 専門分野 | 計算資源 利用の役割 | 役割／経験・実績 |
|-------|----|------|---------------|----------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

4.実施体制

5. 継続元課題

・継続元課題 ID:

・継続元課題名:

・継続元課題の目標達成状況、実績等:

5.継続元課題

6. 課題実施の妥当性

・利用者の成果創出、目的の達成、本申請を機に「富岳」の利用が広がる研究ですか。

・「富岳」の利用環境に「富岳」の活用が促進されるか。

□はい □いいえ

・提案課題の実施および成果の利用が平和的に限定される等、科学技術・イノベーション基本法や社会通念等に照らして当該利用研究課題を実施しますか。

□はい □いいえ

（いいえにチェックされた場合は「富岳」計算資源をご利用いただくことは出来ません。）

6.課題実施の妥当性

2

Ⅱ. 申請書類を作成する 5/6

課題申請書（追加シート1）の様式：産業有償課題

「富岳」有償課題（一般／産業） 課題申請書（追加シート1） Ver.1.4 (2023/9/6)

| | | |
|-----------|--------------|-------|
| 正式利用研究課題名 | | |
| 同上（英略表記） | | |
| 公表利用研究課題名 | 研究課題名、 | |
| 同上（英略表記） | 研究課題代表者 | |
| 研究課題代表者 | 所属: | 氏名: |
| 同上（英略表記） | Affiliation: | Name: |

1 研究の意義（研究目的、期待される成果）
※競争的資金や国等の資金で実施される場合は、補助金等申請書等に研究目的等のみを記載してください。

1.研究の意義

2 研究計画・方法
2.1 研究計画と方法

2.2 「富岳」の利用計画

| 利用プログラム | 最大実行予定時間（時間） |
|---------|--------------|
| | |
| | |

利用計画

2.2.1研究計画と方法
2.2「富岳」の利用計画
2.3「富岳」の必要性

| 利用期間 | 要求資源量（□ノード時間／□利用単位）※どちらかチェック |
|-----------------|------------------------------|
| 202x年x月～202x年x月 | |
| 202x年x月～202x年x月 | |
| 合計 | |

※利用料金が年度別（年度：4月～翌年3月）に発生しますので、年度別の要求資源量を記載してください。
※ノード共有利用の場合はノード時間を、ノード占有の場合は利用単位を記入願います。
なお、ノード占有利用の場合は48ノード×半年（199,728ノード時間）が1利用単位となります。

2.3 「富岳」の必要性

1

「富岳」有償課題（一般／産業） 課題申請書（追加シート1） Ver.1.4 (2023/9/6)

2.4 実施体制
（組織体制表）※単一組織の場合は省略可

| 組織名 | 役割 |
|-----|----|
| | |
| | |

※上記の組織体制表の代わりに組織体制図でも可

2.4実施体制

（課題参加者）

| 課題参加者 | 所属 | 専門分野 | 計算資源利用の有無 | 役割／経験・実績 |
|-------|----|------|-----------|----------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

3 本申請に関連する研究
・継続元課題 ID:
・継続元課題名:
・継続元課題の目標達成状況、実績等。

3.本申請に関連する研究

4 課題実施の妥当性
・提案課題の実施及び成果の利用が可能な法や社会通念等に照らして当該利用研究課題を実施します。（いいえ）
（いいえにチェックされた場合は「富岳」およびHPCI 共用計算資源をご利用いただくことはできません。）

4.課題実施の妥当性

5 希望する有償利用における付加サービス
※付加サービスにより料金単価が異なります。※「富岳」料金単価・料金算出式・料金の目安等

(1) ノード利用方式
□ ノード共有 □ ノード占有

(2) 利用報告書
□ 非公開 □ 公開

5.利用する有償利用における付加サービス

2

Ⅱ. 申請書類を作成する 6/6

課題申請書（追加シート1）の様式：産業試行有償課題

「富岳」試行有償課題（一般／産業）（追加シート1） Ver.1.3 (2023/03/31)

| | | |
|------------|---------------|-------|
| 正式利用研究課題名 | | |
| 同上（英語表記） | | |
| 公表用利用研究課題名 | 研究課題名、研究課題代表者 | |
| 同上（英語表記） | | |
| 研究課題代表者 | 所属: | 氏名: |
| 同上（英語表記） | Affiliation: | Name: |

1. 研究計画と方法

1.研究計画と方法

2. 資源利用計画

利用プログラム

| 利用プログラム | 最大実行予定ノード数 | 利用実績(計算対象・実行計算機等) |
|---------|------------|-------------------|
| | | |

要求資源量

| 提供機関名 | 計算資源量 | 利用する資源量 |
|-------------------|-------|---------|
| 理化学研究所 計算科学研究センター | | |

※計算資源名、計算資源量合計は「ローカルストレージ」のWeb入力フォームと一致させてください。（異なっている場合は、Web入力フォームにWeb入力してください。）
 ※ローカルストレージはWeb入力フォームにWeb入力してください。
 計算資源量の算出根拠

ローカルストレージの算出根拠

2.資源利用計画
 ・利用プログラム
 ・要求資源量
 ・ノード時間
 ・ローカルストレージ容量
 ・計算資源量の算出根拠
 ・ローカルストレージの算出根拠

「富岳」試行有償課題（一般／産業）（追加シート1） Ver.1.3 (2023/03/31)

3. 実施体制

| 課題参加者 | 所属 | 専門分野 | 計算資源利用の有無 | 役割／経験・実績 |
|-------|----|------|-----------|----------|
| | | | | |

3.実施体制

4. 継続元課題

・継続元課題 ID:
 ・継続元課題名:
 ・継続元課題の目標達成状況、実績等:

4.継続元課題

5. 課題実施の妥当性

・利用者の成果創出、目標の達成、または本格的な「富岳」の利用、につながり得る研究ですか。
☐ はい ☐ いいえ

・「富岳」の利用環境において、行う小規模な課題ですか。
☐ はい ☐ いいえ

・提案課題の実施および成果の利用が平和目的に限定される等、科学技術・イノベーション基本法や社会通念等に照らして当該利用研究課題を実施しますか。
☐ はい ☐ いいえ

（いずれにチェックされた場合は「富岳」計算資源をご利用いただくことは出来ません。）

5.課題実施の妥当性

6. 希望する有償利用における付加サービス

(1) 課金方式

☐ 定額 ☐ 従量 ※どちらかを選択してください。

| 利用期間 | ノード時間 |
|-----------------------|-------|
| 202x 年 x 月～202x 年 x 月 | |
| 202x 年 x 月～202x 年 x 月 | |
| 合計 | |

※利用料金は定額制の場合、年度利用料金を一括で請求いたします。
 従量制の場合は、半期（上期:4月～9月、下期:10月～3月）ごとに請求いたします。
 定額制は年度毎の計算資源量を指定してください。

(1)課金方式
 (2)利用報告書
 (3)ジョブ実行開始時刻指定機能

(2) 利用報告書

☐ 非公開 ☐ 公開

(3) ジョブ実行開始時刻指定機能

☐ 利用予定あり ☐ 利用予定なし
 利用目的等:

Ⅲ. 「HPCI申請支援システム」から課題申請を行う 1/3

HPCI申請支援システムのトップ画面 (<https://www.hpci-office.jp/entry/>) から操作。
 詳細は「HPCIクイックスタートガイド」参照。<https://www.hpci-office.jp/materials/hpci-startguide.pdf>

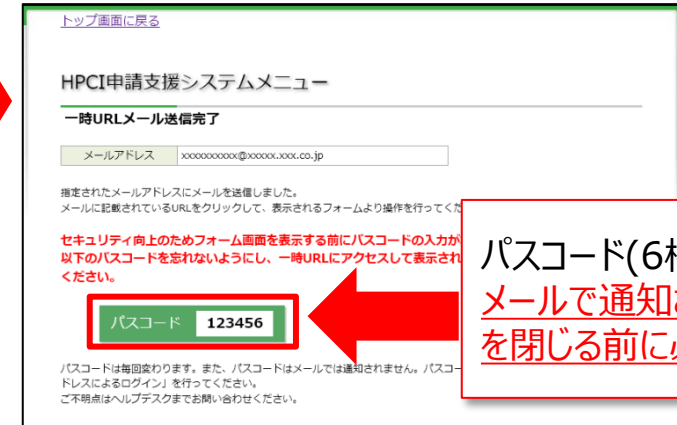
① トップ画面の「メールアドレスによるログイン」をクリック。



② 「課題申請・照会」を選択し、メールアドレスを入力して「実行」をクリック。



③ メール送信完了の画面が表示される。
表示されている「パスコード」をメモする。



**パスコード(6桁数字)は
メールで通知されないため、画面
を閉じる前に必ずメモすること。**

④ 受信したメールに記載されたURLにアクセスする。

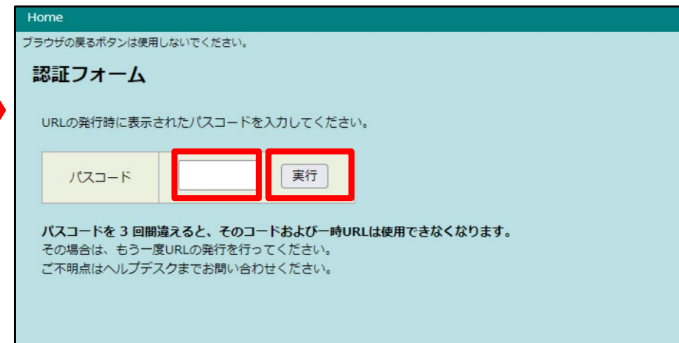
下の URL をクリックして、HPCI-ID の操作フォームにアクセスしてください。

《課題申請・照会》
<https://www.hpci-office.jp/entry/urllauth/form?ackey=xxxxxxxxxxxxxx>

この URL の有効期限は 24 時間です。
 メールがあなたの予期しないものである場合はヘルプデスクまでご一報下さい。

メール文章中の URL をクリックしてもページをご覧いただけない場合は、
 メールソフトのデフォルトブラウザの設定をご確認いただき、場合によっては
 メールソフトを一旦終了して再立ち上げをしてください。それでもページを
 ご覧いただけない場合は、URL をコピーして、ブラウザのアドレス部分に
 ペースト(貼付け)してご覧ください。

⑤ 認証フォームにパスコードを入力し「実行」をクリック。



⑥ 申請課題一覧画面の左上
「HPCI新規課題申請」をクリック。



Ⅲ. 「HPCI申請支援システム」から課題申請を行う 2/3

⑦新規課題申請フォームに必要事項を入力し、課題申請書(追加シート1)をアップロードし「申請」をクリック。

入力方法の詳細は <https://www.hpci-office.jp/materials/hpci-startguide.pdf#page=23> を参照。

問合せの多い項目

| Home | | | |
|---|----|---|--|
| ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。 | | | |
| 利用枠 | 必須 | <div>「富岳」産業機動的課題：随時募集</div> <div>▼ クリア</div> <div>① 注意事項</div> | |
| 成果公開・非公開 | | 公開 | |
| 課題名 | 必須 | <div>英語（任意） （この欄は申請内容がわかる名称を記入してください） <small>英語名に使用できる文字は半角の英数字および記号だけです。</small></div> <div>日本語（任意） （この欄は申請内容がわかる名称を記入してください）</div> | |
| 課題概要 | 必須 | <p>研究の目的と意義、当申請課題の目標、実施内容や計算手法等を的確に表現するキーワードを含めて記述してください。</p> <div></div> <div>課題概要クリア</div> | |
| 課題分野 | 必須 | (選択してください) ▼ | |
| 研究キーワード | 必須 | <p>※ 右下の注意事項を参照の上、科研費の「審査区分表」から申請課題の研究分野を端的に示す小区分（5桁の数字と文字列「・・・関連」）とキーワード（「内容の例」）を重要度の高いものから順に入力ください（最長1組）</p> <div> <div>小区分</div> <div>キーワード（「内容の例」）</div> </div> <div> 1. <div></div> 2. <div></div> 3. <div></div> </div> <div>① 注意事項</div> | |
| 課題実施期間 | | | |
| 利用希望時期 | 必須 | 2021 ▼ 年 03 ▼ 月 09 ▼ 日 ~ 2028 ▼ 年 03 ▼ 月 31 ▼ 日 | |
| 課題申請書(追加シート1) (PDF) | 必須 | <div> <div>ファイルの選択</div> <div>ファイルが選択されていません</div> <div>アップロード</div> </div> <div>アップロードファイルの確認はここをクリック→ (アップロードされていません)</div> | |
| <p>■ 所属長情報</p> <p>※ 課題代表者の所属する組織の代表者、もしくはそれに相当する組織の長を記載してください。 （課題代表者と別の方を設定してください。組織の最上位の方が課題代表者の場合のみ課題代表者と同一で問題ありません。）</p> | | | |
| 機関名 | 必須 | <div></div> | |
| 所属 | 必須 | <div></div> | |
| 役職 | 必須 | <div></div> | |
| 氏名 | 必須 | <div></div> | |
| メールアドレス | 必須 | <p>所属長のメールアドレスを間違えると個人情報情報の漏洩につながる恐れがございますので、十分にご注意して入力して下さい。所属長が事務方や秘書を含んだ仮メールアドレスをお持ちの場合、そちらを入力して下さい。カンマ区切りで複数のメールアドレスを入力するとそれぞれ複数にメールが送信されます。</p> <p>課題代表者および副代表者のメールアドレスは指定できません。</p> <div></div> | |

| 必須 | | 課題代表者 ※課題を実施する代表者を設定してください。 | |
|----------------------|--|-----------------------------|------------------------------------|
| HPCI-ID | 照合コード | 氏 名 | 本人確認 |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> <input type="button" value="照合"/> | <input type="text"/> | <input type="button" value="クリア"/> |

| 任意 | | 副代表者 | |
|----------------------|--|----------------------|-----------------------------------|
| HPCI-ID | 照合コード | 氏 名 | 本人確認 |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> <input type="button" value="照合"/> | <input type="text"/> | <input type="button" value="削除"/> |
| | | | <input type="button" value="追加"/> |

| 任意 | | 課題参加者 | |
|----------------------|--|----------------------|-----------------------------------|
| HPCI-ID | 照合コード | 氏 名 | 本人確認 |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> <input type="button" value="照合"/> | <input type="text"/> | <input type="button" value="削除"/> |
| | | | <input type="button" value="追加"/> |

| 選択 | | 利用希望資源 (計算資源) | | ① 注意事項 | |
|----------------------------------|-------------|---------------------------|---|--------|-----------------------------------|
| 機関名/資源名 | クラス名 | 提供期間 | 利用する資源量 | | |
| 理学研究所 計算科学研究所センター/スーパーコンピュータ「露岳」 | 【共有】クラス分けなし | 2021/03/09 ～2028/03/31 | 範囲内で資源量を指定してください $1 \leq $ <input type="text" value="1000000"/> $ \leq 1,000,000$ (単位: ノード時間) | | <input type="button" value="削除"/> |
| | | | | | <input type="button" value="追加"/> |

| 選択 | | 利用希望資源 (共有ストレージ) | | ① 注意事項 | |
|---|-------------|---|--|--------|-----------------------------------|
| | | ※計算資源のローカルストレージとは異なります。 ローカルストレージ以外に大量のデータを格納する場合や複数機関の資源を利用する際にデータを共有する場合、選択してください。 | | | |
| 機関名/資源名 | クラス名 | 提供期間 | 利用する資源量 | | |
| 東京大学 情報基盤センター (東拠点) 理学研究所 (西拠点) /HPCI 共用ストレージ | 【共有】クラス分けなし | 2021/04/01 ～2028/03/31 | 範囲内で資源量を指定してください $1,000 \leq $ <input type="text" value="5"/> $,000 \leq 10,000$ (単位: GB) | | <input type="button" value="削除"/> |
| | | | | | <input type="button" value="追加"/> |

| 任意 | | 補足事項 (資源の希望について補足があれば記載してください) | |
|----------------------|--|--------------------------------|--|
| <input type="text"/> | | | |

※各欄に案内は、課題代表者と連絡責任者別にお送りしております。
連絡責任者には、課題代表者とは別に確実に連絡がとれる連絡窓口の方を設定してください。
 副代表者、あるいは課題に参加する研究者以外の方（秘書の方、事務の方、等）を設定することも可能です。なお、組織への所属者が1名の場合のみ課題代表者と同一で問題ありません。

| ● HPCI-ID 登録済 | HPCI-ID | 照会コード | 氏 名 |
|------------------|----------------------|-------------------------|--|
| | <input type="text"/> | <input type="text"/> 照合 | <input type="text"/> |
| ○ HPCI-ID 未登録 | 氏 名 | 必須 | <input type="text"/> |
| | 組織・部門 | 必須 | <input type="text"/> |
| | 郵便番号 | 必須 | <input type="text"/> |
| | 住 所 | 必須 | <input type="text"/> |
| | 電話番号 | 必須 | <input type="text"/> |
| | FAX番号 | 任意 | <input type="text"/> |
| | メールアドレス | 必須 | <input type="text"/> <input type="button" value="送信確認"/> |

送信確認をクリックするとテストメールを送信することができます

☐ 当該課題に当たり、募集要領（もしくは申請要領）を理解の上、記載内容が正しいこと、また個人情報扱い（利用目的、第三者への提供等）については個人情報保護法に基づき、被記載者本人の同意を得ていることを誓約します。

「連絡責任者」は、HPCI-IDを取得していない方を指定しても良い。課題代表者とは別の方で、確実に連絡が取れる方を記入のこと。

「利用希望資源(共用ストレージ)」は、HPCI共用ストレージの利用を希望する場合に入力。「HPCI共用ストレージ」とは研究コミュニティにおけるデータ共有や、大量データの格納、アーカイブを実現するために整備された総容量45PBのストレージ領域で、「富岳」ローカルストレージとは異なる。

なお、「富岳」ローカルストレージは、申請フォームへの入力は不要で課題単位で初期値5TBが割当てられる。課題採択後の申請で拡大可能。

「課題申請書(追加シート1)」をアップロード。

「所属長情報」は、課題代表者の上職の部門の責任者（例：部長、課長等）の情報を入力する。ここで指定された方に対してメールで申請内容の確認依頼を行うため、事前に所属長の下承を得た上で入力のこと。

Ⅲ. 「HPCI申請支援システム」から課題申請を行う 3/3

- ⑧課題申請すると課題代表者、副代表者、連絡責任者にメール通知される。

HPCI-ID登録情報の更新・変更 | 課題申請・詳細 | その他 | Home

ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。
申請情報入力 > 入力内容確認 > 【申請完了】

新規課題申請

課題の新規申請が完了しました。

| | | | |
|--------|-------------------------|---------|--|
| 課題 ID | hp210057 | | |
| 課題名 | 英語 | 申請した課題名 | |
| | 日本語 | 申請した課題名 | |
| 課題実施期間 | 2021/04/01 ~ 2022/03/31 | | |

続いて以下の手順を実施してください。

- ① 右のボタンをクリックして、表示された画面から申請書を印刷してください。
- ② 印刷した申請書に課題概要を添付して、所属機関長の職印をもらってください。
- ③ 職印の押された申請書を、担当事務局までご郵送ください。

[申請書の印刷](#)

[一覧に戻る](#)

- ⑩申請内容を確認し「確認」をクリック。

ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。
【申請内容確認】 > 確認完了

申請課題確認

以下の課題が申請されました。内容を確認して画面下の「確認」を押してください。
所属長情報に誤りがある場合は課題代表者へお問合せください。その他不明な点はヘルプデスクまでお問い合わせください。

登録費額（もしくは申請費額）に記載された条件に同意し課題を申請します。

| | | |
|---------------------|------------------------|--------|
| 申請機署名 | XXXXXXXXXX | 申請機署名印 |
| 申請機代表者 (部署・職・氏名) | XXXXXXXXXX | 課題代表者印 |
| 課題代表者 (氏名) | XXXXXXXXXX (XXXX XXXX) | |

| | | | |
|-------|------------------------------|---------|---------------------|
| 課題 ID | hp210057 | 課題申請日 | 2020/09/15 16:58:42 |
| 課題名 | 英語 | 申請した課題名 | |
| | 日本語 | 申請した課題名 | |
| 課題概要 | XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX | | |

- ⑨所属長に申請内容の確認依頼のメールが通知される。
所属長はメールに記載されたURLにアクセスし申請内容の確認画面を表示する。

以下の課題代表者より申請された課題について、所属長確認をお願いいたします。
A project proposal is submitted by the following applicant. Please confirm this project as the head of the applicant's organization / department.

課題 ID(Project ID) : hp210059
課題名(Project name) : 申請した課題名

課題代表者(Project Representative) :
〇〇〇大学
テストユーザ (test user)

下記 URL より申請内容を確認し、画面下の「確認」ボタンを押下してください。
<https://www.hpci-office.jp/entry/applicationconf/confirm?ackey=xxxxxxxxxx>

Confirm the proposal via the URL below and click the "Approve" button in the bottom:
<https://www.hpci-office.jp/entry/applicationconf/confirm?ackey=xxxxxxxxxx&lang=en>

本メールにお心当たりがない場合は、ヘルプデスクへお知らせください
Please contact the Helpdesk if you were not aware that you were going to receive this email.

連絡責任者

| | | | |
|---------|--------------------------------------|-----|----------------|
| HPCI-ID | hpci000001 | | |
| 組織・部門 | XXXXXXXXXXXXXXXX | | |
| 氏名 | XXXX XXXXXXXX (XXXX XXXXX) | 職 | XXXXXXXXXXXXXX |
| 住所 | 〒000-0001 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX | TEL | 999-9999-9999 |
| E-mail | mailuser01@hpci-g.elsd.kns.nec.co.jp | FAX | 888-8888-8888 |

当課題申請に当たり、登録費額（もしくは申請費額）を理船の上、記載内容が正しいこと、また個人情報の扱い（利用目的、第三者への提供等）については個人情報保護法に基づき、被記載者本人の同意を得ていることを誓約します。

この申請内容に問題がない場合は「確認」ボタンを押してください。

[確認](#)

- ⑪所属長の確認が終わると、課題申請は完了。

(3) 選定結果を受け取る



選定結果を受け取る

申請課題は「特定高速電子計算機施設の利用研究課題選定に関する基本的考え方」(※1)に基づき審査され、「富岳」利用の研究課題として選定される。課題代表者は選定結果をメールで受け取る。

審査・選定の方法

■「産業課題」「産業機動的課題」「産業有償課題」

産学官の有識者から構成される利用研究課題審査委員会により実施される。利用研究課題審査委員会は、申請者から提出された申請書類などの内容について、「特定高速電子計算機施設の利用研究課題選定に関する基本的考え方」(※1)に基づき審査を行い、その審査結果を選定委員会に報告する。選定委員会は報告された審査結果に対して意見を述べ、登録施設利用促進機関の長が利用研究課題を選定する。

■「産業試行課題」「産業試行課題(ファーストタッチオプション)」「産業試行有償課題」

産学官の有識者から構成される利用研究課題審査委員会により予め認められた利用資格審査基準に従い実施される。登録施設利用促進機関は「特定高速電子計算機施設の利用研究課題選定に関する基本的考え方」(※1)に基づき審査を行い、登録施設利用促進機関の長が利用研究課題を選定する。

選定結果の通知

選定結果は、課題代表者および連絡責任者へメールで通知される。

| 産業課題 | 産業機動的課題 | 産業試行課題 | | 産業有償課題 | 産業試行有償課題 |
|-------------------|------------------|---------------------|----------------------|-------------------|---------------------|
| | | | ファーストタッチオプション | | |
| 年2回募集 | 随時(採択は年4回) | 随時 | 随時 | 随時 | 随時 |
| 申込締切から 約3.5ヶ月後 | 申込締切から 約1.5ヶ月 | 申込受付から 約2週間後(※2) | 申込受付から 3営業日程度(※2) | 申込受付から 約1.5ヶ月後 | 申込受付から 約2週間後(※2) |

※1 : https://www.hpci-office.jp/about_hpci/laws_regulations

※2 : 申請の処理状況により選定結果の通知が前後することがある。

選定結果等の公開

「富岳」有償利用（有償課題、試行有償課題）の利用報告書・非公開選択時には、課題選定結果の掲載情報の課題代表者名、所属機関名、課題名が非公開となる。

「特定高速電子計算機施設等の利用促進業務における情報管理に関する基本的考え方」が改版され、2025年10月の資料更新より、下記の通り変更される。（従来からの変更箇所を赤字と字消しで示す。）

選定結果等の公開

選定及び実施された課題に関する情報について、登録機関及び代表機関は以下のとおり公開するものとする。

（１）選定後

課題番号、利用研究課題名、研究課題代表者名、所属機関名、国名、利用計算資源名、配分ノード時間数などをホームページ等で公開する。

但し、「HPCI システム利用研究課題実施後の成果等の取扱いに関する基本的考え方」に定める利用報告書を非公開とする課題については、利用研究課題名、~~研究課題代表者名、所属機関名~~を非公開とする。

（２）実施後

① 利用報告書を公開とする課題

課題番号、利用研究課題名、研究課題代表者名、所属機関名、国名、利用計算資源名、利用ノード時間数、実施期間、利用ソフトウェア、研究目的、利用結果などを利用報告書等にて公開する。

② 利用報告書を非公開とする課題

課題番号、~~利用研究課題名（公表用の課題名とする）~~、~~研究課題代表者名、所属機関名~~、国名、利用計算資源名、利用ノード時間数、実施期間をホームページ等で公開する。

(4) 利用の準備をする



アカウント発行と課題開始時の手続き

課題参加者はアカウント発行の手続きを行う。その後、課題代表者は課題開始時の手続きを行う。詳細は「アカウント発行のための手続き」参照。

https://www.hpci-office.jp/for_users/procedure_project_start/start_representative

| 手続き | 実施者 | 概要 | 手続き方法 |
|-----------------|-----------|--|---|
| 割当資源量の確認 | 課題代表者 | 審査結果により割り当てられた資源量を確認。 | 「HPCI申請支援システム」で確認。詳細は手順を参照。 https://www.hpci-office.jp/materials/info_sigen.pdf ※「産業試行課題」「一般試行課題」のファーストタッチオプションを利用する場合は、割当資源量が1,000ノード時間(固定)のため確認不要。 |
| 課題情報の開示に関する同意確認 | 課題代表者 | 課題申請書のHPCIシステム構成機関への開示に関する同意。課題申請書に秘密情報が含まれる場合は、課題申請書の該当部分を開示できる内容に変更し、アップロード。 | 「HPCI申請支援システム」で同意確認。詳細は手順を参照。 https://www.hpci-office.jp/materials/Confirm_PJinfo.pdf ※「産業試行課題」「一般試行課題」のファーストタッチオプションを利用する場合は、課題申請書は作成不要のため確認不要。 |
| 利用者の手続き | 全員対象 | 「富岳アカウント申請システム(FAAS)」を使用して、「富岳アカウント」を取得するための手続きを実施。 | FAASを使用して、本人確認・所属確認、安全保障審査入力、誓約書への同意をし、「富岳アカウント」を取得するための手続きを実施する。 詳細は「「富岳」利用手続きについて：利用者の手続き」参照。 https://www.hpci-office.jp/fugaku/for_users/procedure_fugaku.html |
| 課題開始時の手続き | 課題代表者/副代表 | 「富岳」を利用する課題が採択された後に行う利用開始手続きを実施。 | FAAS上で、課題参加者（個人）の安全保障審査入力状況を確認後、課題に関する安全保障審査入力、誓約書（課題用）への同意を行う。 詳細は「「富岳」利用手続きについて：課題開始時の手続き」参照。 https://www.hpci-office.jp/fugaku/for_users/procedure_fugaku.html |

富岳アカウント申請システム

富岳アカウント申請システム(FAAS) は、「富岳」の運用機関である理化学研究所計算科学研究センター(R-CCS)が運用する、「富岳」を利用するために必要な手続きを行うためのシステムです。

【クイックスタートガイド】 https://apply.fugaku.r-ccs.riken.jp/faas_quick_start_guide.pdf

【利用マニュアル】 https://apply.fugaku.r-ccs.riken.jp/faas_user_manual.pdf

□**サイン** : <https://apply.fugaku.r-ccs.riken.jp/login>



FAAS

Fugaku Account Application System

富岳アカウント申請システム

メールアドレス

パスワード

ログイン

[パスワードを忘れた場合](#)

初めてご利用になる場合はこちらからアカウントを作成する

トップ画面イメージ

富岳アカウント申請システム
FAAS

あなたの富岳アカウント 課題メンバーの富岳アカウント

JA | EN

要求されているタスク

2025/04/01 14:00 hp

【課題】 誓約書 / 誓約書を提出してください

タスク一覧

最近のお知らせ

必要な手続き(タスク)の一覧が表示されます。

あなたの富岳アカウント

● 利用可 ローカルアカウント名: u1000000

富岳利用不可 5 課題

富岳利用可 1 課題

6 課題中

● 手続きは未完了です

詳細を確認する

課題メンバーの富岳アカウント

富岳利用不可 42 ユーザー

富岳利用可 15 ユーザー

富岳利用不可 6 課題

富岳利用可 0 課題

6 課題中

● 手続きは未完了です

詳細を確認する

左側は、利用者(課題代表者、副代表者、参加者含む)としての手続きやその状況確認ができます。
また、富岳アカウント発行後、パスフレーズをダウンロードできます。

右側は、課題代表者(副代表者)としての手続きやその状況確認、また課題参加者の手続き状況の確認ができます。

出典：https://www.hpci-office.jp/fugaku/for_users/procedure_fugaku.html

(5) 「富岳」を利用する



クライアント証明書をインストールする 1/4

「富岳」の利用者には「富岳ウェブサイト」で利用手引きや運用情報などが提供される。
「富岳ウェブサイト」にアクセスするには、事前にブラウザにクライアント証明書をインストールする。
詳細は「スーパーコンピュータ「富岳」スタートアップガイド」参照。

<https://www.hpci-office.jp/fugaku/user-info/user-guide.pdf>

●クライアント証明書

アカウント発行が完了すると申請時に記載したメールアドレス宛てにクライアント証明書が電子メールで送付される。電子メールに添付されている“ローカルアカウント名.p12”ファイルを、クライアント証明書をインストールする機器（パソコンなど）に保存する。“ローカルアカウント名.p12”ファイルには、クライアントの秘密鍵、クライアント証明書（公開鍵）、クライアント証明書発行局のルート証明書が含まれている。

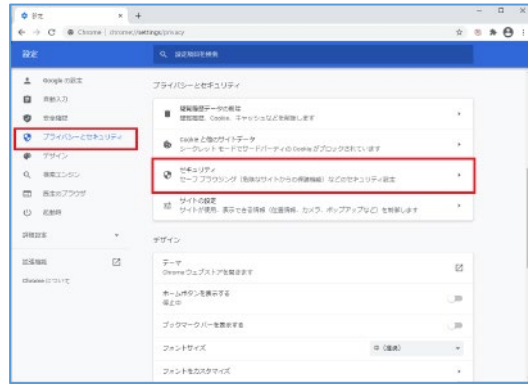
●クライアント証明書のパスフレーズ

パスフレーズは、クライアント証明書とは別に、書面またはPDF ファイルで送付される。パスフレーズはクライアント証明書をインストールする時に必要となる。安全な場所に保管のこと。

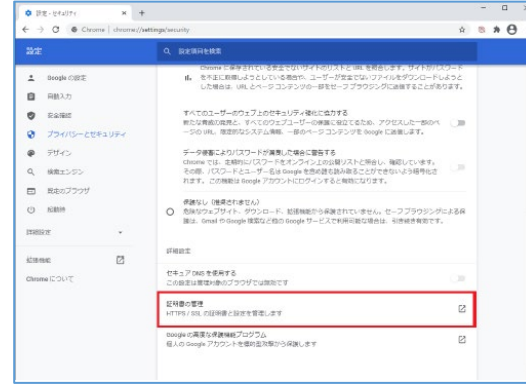
クライアント証明書をインストールする 2/4

【事前準備】「富岳ウェブサイト」にアクセスするブラウザにクライアント証明書をインストールする。
 Chromeへのクライアント証明書のインストール方法（Windows利用の場合）
 ※Firefoxへの証明書のインストールや、Macから利用する場合の設定方法は「スーパーコンピュータ「富岳」スタートアップガイド」参照。<https://www.hpci-office.jp/fugaku/user-info/user-guide.pdf>

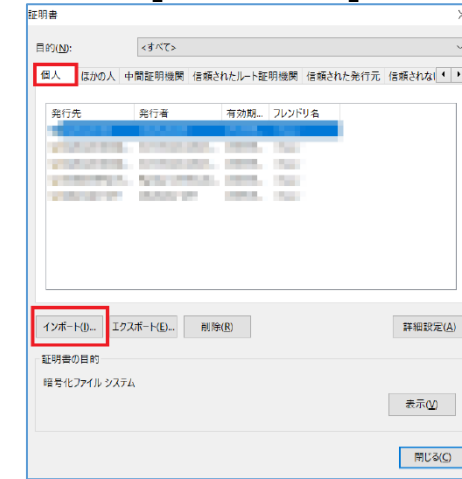
①Chromeを起動し設定画面から
 [プライバシーとセキュリティ]の
 [セキュリティ]をクリック。



②[証明書の管理]をクリック。



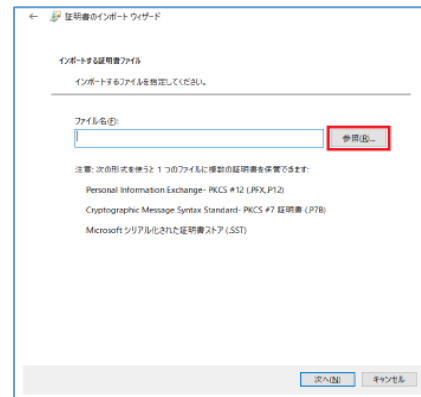
③証明書マネージャが起動したら[個人]を
 選択して、[インポート...]をクリック。



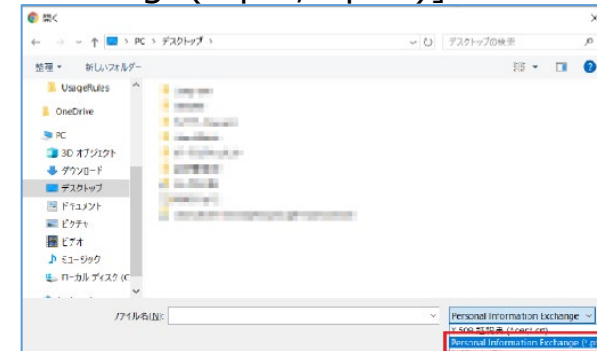
④4証明書のインポートウィザードが
 開いたら[次へ]をクリック。



⑤参照をクリック。

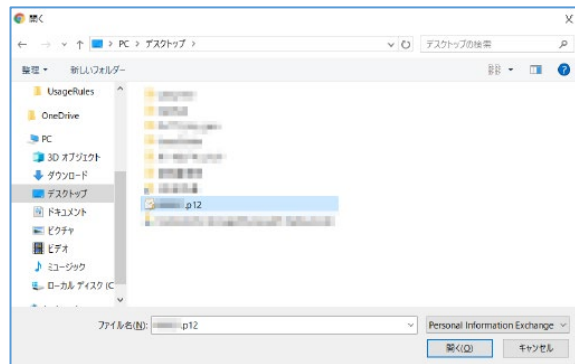


⑥ファイルの種類を[Personal Information
 Exchange(*.pfx,* .p12)]に変更。

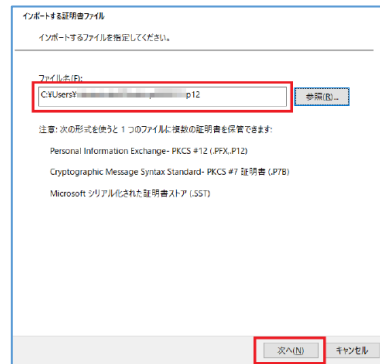


クライアント証明書をインストールする 3/4

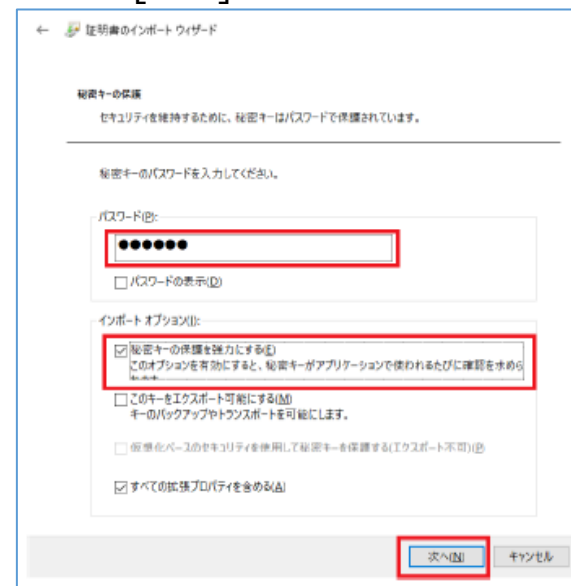
⑦"ユーザーアカウント名.p12"ファイルを選択し[開く]をクリック。



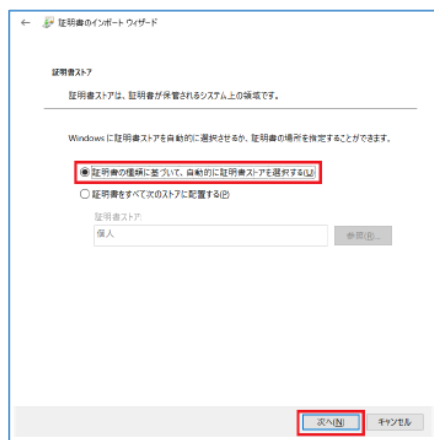
⑧ファイル名を設定した後、[次へ]をクリック。



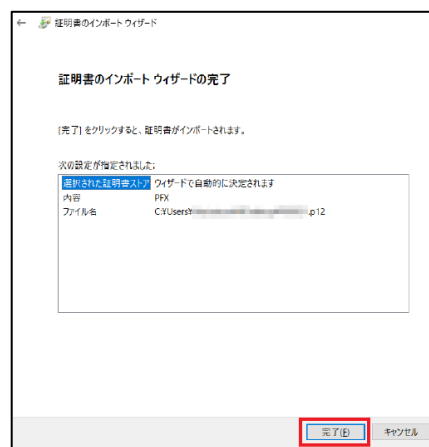
⑨クライアント証明書のパスワードをパスワード欄に入力し、インポートオプションの[秘密キーの保護を強力にする]にチェックを付け[次へ]をクリック。



⑩証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択するをチェックし[次へ]をクリック。

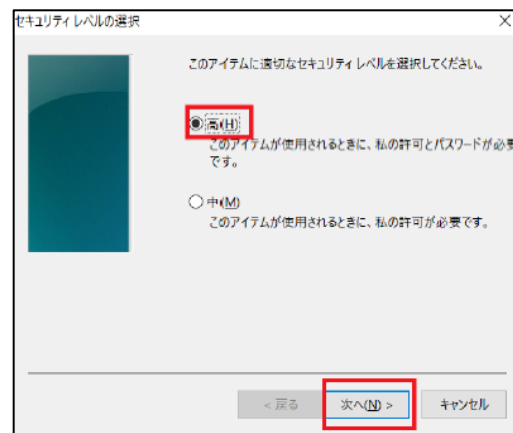


⑪[完了]をクリック。



クライアント証明書をインストールする 4/4

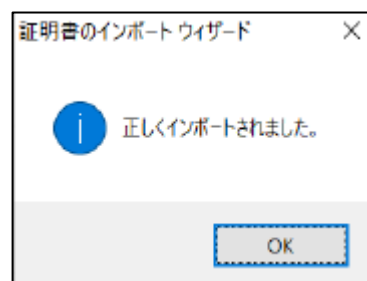
- ⑫「新しい秘密交換キーをインポートします」画面で[セキュリティレベルの設定]をクリック。
 ⑬[高]をチェックし[次へ]をクリック。
 ⑭パスワードを設定し[完了]をクリック。



- ⑮[OK]をクリック。



- ⑯[OK]をクリック。



- ⑰セキュリティ警告が出た場合は、拇印が(SHA-1): EEED846F
 FC733A73
 328F4561
 39BDB995D5174B
 BCであることを確認した上で[はい]をクリック。

- ⑱以上でクライアント証明書のインストールは完了。

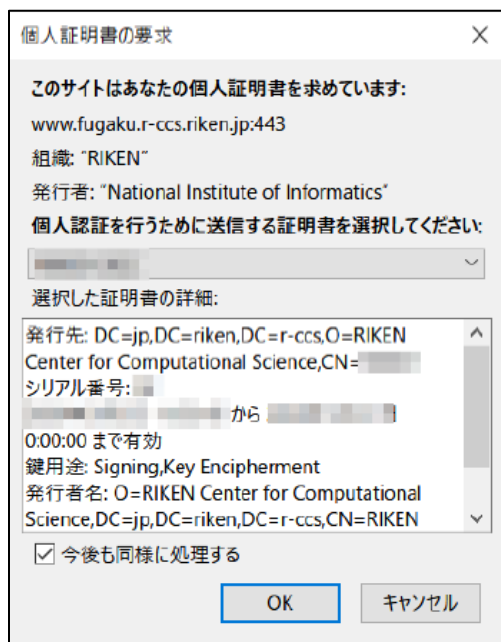
「富岳ウェブサイト」を利用する

「富岳ウェブサイト」へアクセスし利用する。詳細は「スーパーコンピュータ「富岳」スタートアップガイド」参照。

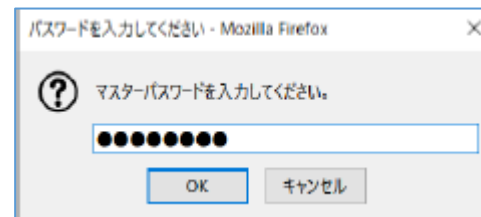
<https://www.hpci-office.jp/fugaku/user-info/user-guide.pdf>

- ①「富岳ウェブサイト」は以下URLにアクセス。
<https://www.fugaku.r-ccs.riken.jp>
 ※「富岳ウェブサイト」は、Mozilla Firefox と Google Chromeで動作確認済。

- ②クライアント証明書を選択ダイアログが表示されたら、利用するローカルアカウントのクライアント証明書を選択。



- ③パスワードの入力ダイアログに、クライアント証明書のインストール時に登録した秘密鍵のパスワードを入力。



- ④クライアント証明書の認証に成功すると、次の「富岳ウェブサイト」が表示される。



「富岳」 Open OnDemandを利用する

Webブラウザから「富岳」を操作できる「Open OnDemand」を提供しています。
アイコンをクリックするだけで、アプリケーションの実行やファイルのアップロード等を行えます※。

<「富岳ウェブサイト」の画面>



※「Open OnDemand」は「富岳ウェブサイト」からもアクセス可

<Open OnDemandの画面>



powered by **Open OnDemand**

OnDemand version: 4.0.6

※：「Open OnDemand」の利用方法は https://riken-rccs.github.io/ondemand_fugaku/index_ja.html をご参照ください。

ローカルアカウントで「富岳」にログインする 1/5

「富岳」Open OnDemandの利用を推奨しますが、SSHの公開鍵認証方式でも「富岳」へのログインやファイル転送ができる。本項ではその方法を説明する。

ローカルアカウントを用いてSSHの公開鍵認証方式で「富岳」のログインノードにログインする。

詳細は「スーパーコンピュータ「富岳」スタートアップガイド」参照。

<https://www.hpci-office.jp/fugaku/user-info/user-guide.pdf>

- SSH (Secure Shell)

暗号や認証の技術を用い安全にリモートコンピュータと通信するためのプロトコル。

- 公開鍵認証方式

サーバーへのログイン時に「公開鍵(public key)」と「秘密鍵(private key)」を用いる認証方法で、ユーザー名とパスワードを使用した認証と比べ、よりセキュリティや柔軟性が高い。

ローカルアカウントで「富岳」にログインする 2/5

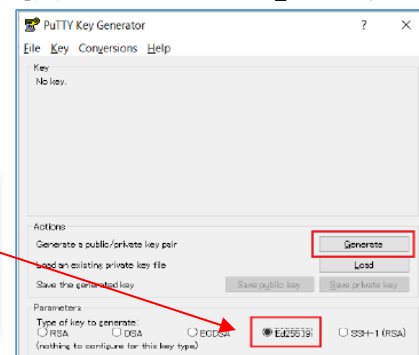
【事前準備】「公開鍵」と「秘密鍵」を作成し、「富岳ウェブサイト」に「公開鍵」を登録する。
 例：「PuTTYgen」を利用した「公開鍵」と「秘密鍵」の作成方法（Windows利用）
 ※MacやUNIX/Linuxから操作する場合の操作方法は「スーパーコンピュータ「富岳」スタートアップガイド」参照。
<https://www.hpci-office.jp/fugaku/user-info/user-guide.pdf>

①「PuTTY」をPCにインストールする。「PuTTY」の他に「PuTTYgen」等がインストールされる。

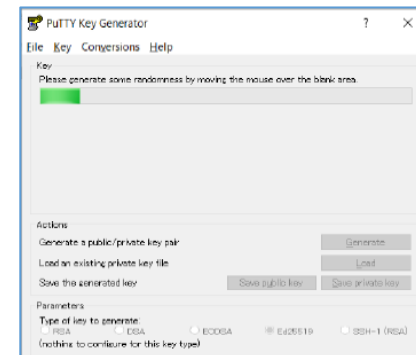
※1：推奨する鍵の種類

- Ed25519
- ECDSA(NIST P 521)
- RSA(鍵長2048bit以上)

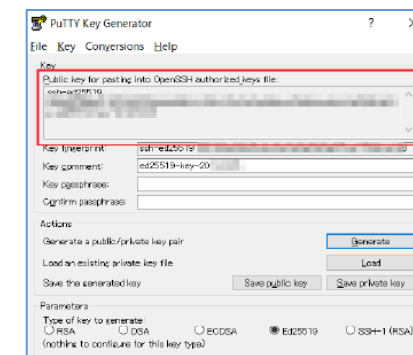
②「PuTTYgen」を起動する。鍵の種類で「Ed25519」(※1)を選択し「Generate」をクリック。



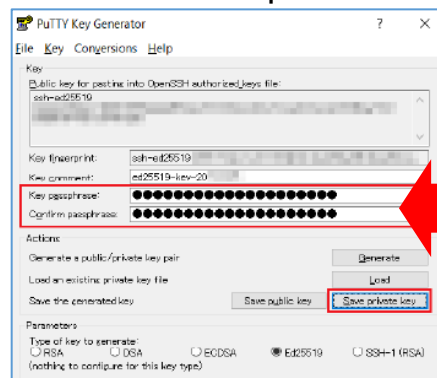
③マウスカースルをランダムに動かす。



④画面に「公開鍵」が表示される。内容をクリップボードにコピーする。

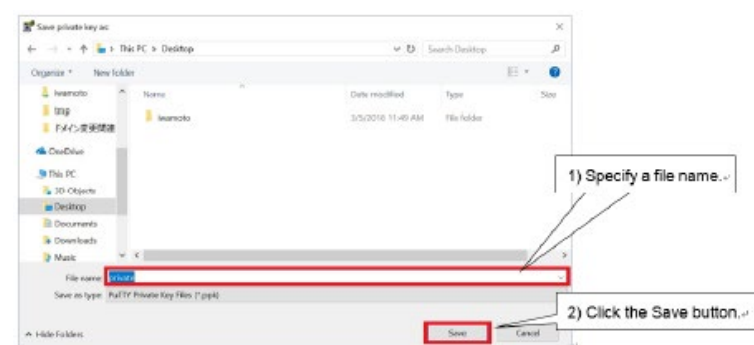


④「Key passphrase」と「Confirm passphrase」にパスワードを入力する。入力後、「Save private key」ボタンをクリック。



パスワードは15文字以上を推奨。ログインノードへのログイン時に入力求められる。

⑤ファイル名を入力し「保存」ボタンをクリックし、秘密鍵を保存する。

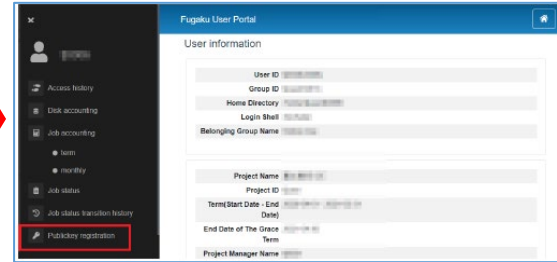


ローカルアカウントで「富岳」にログインする 3/5

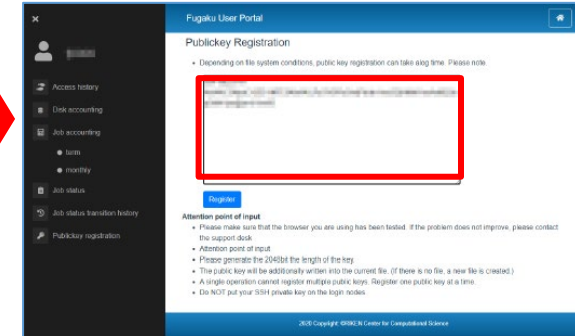
- ⑥「富岳ウェブサイト」ログインメニューから
[利用者ポータル]をクリック。
「富岳ウェブサイト」：
<https://www.fugaku.r-ccs.riken.jp>



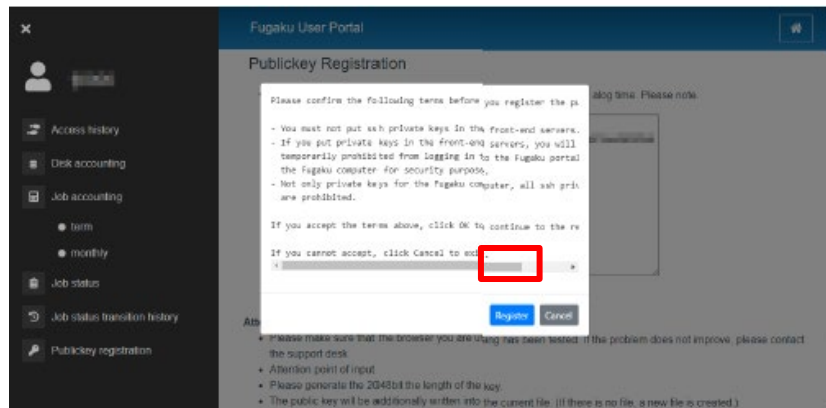
- ⑦メニューから[Publickey
registration]をクリック。



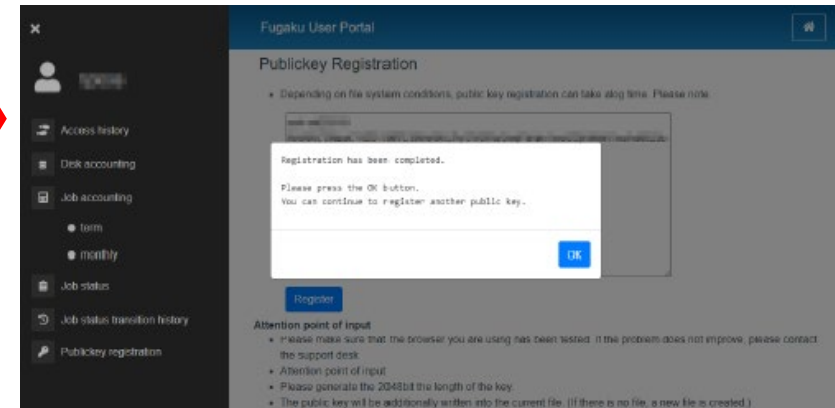
- ⑧「Publickey Registration」欄に
利用する公開鍵をコピー＆ペースト
し、[Register]をクリック。



- ⑨内容を確認のうえ[Register]をクリック。



- ⑩「Registration has been completed.」の
画面が表示されたら公開鍵の登録作業は完了。



ローカルアカウントで「富岳」にログインする 4/5

ローカルアカウントで「富岳」のログインノードにログインする。

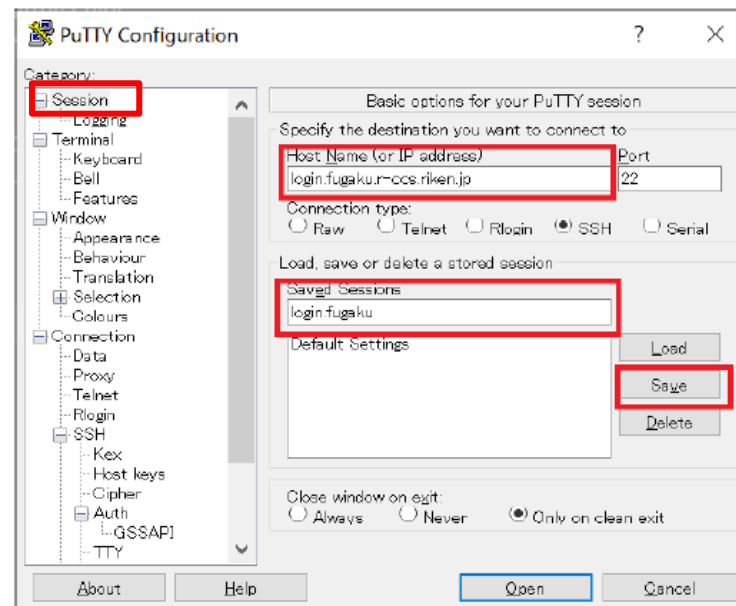
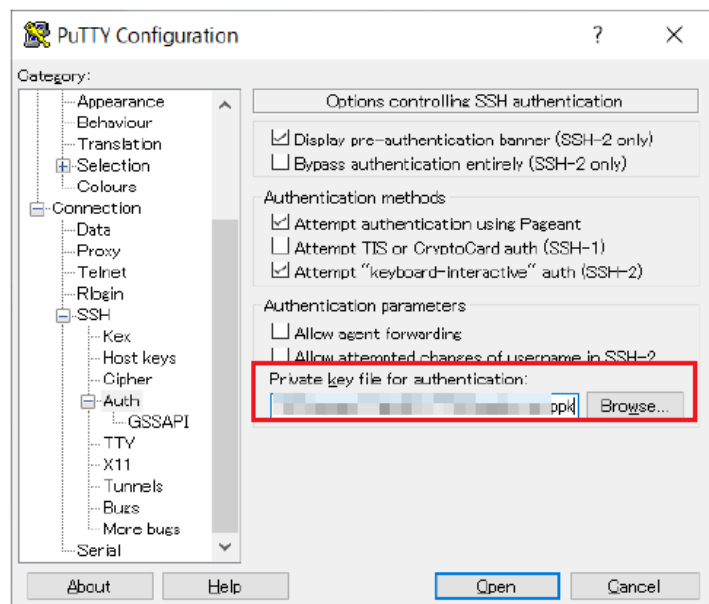
例：「PuTTY」を利用したログイン方法（Windows利用）

※MacやUNIX/Linuxから操作する場合の操作方法は「スーパーコンピュータ「富岳」スタートアップガイド」参照。

<https://www.hpci-office.jp/fugaku/user-info/user-guide.pdf>

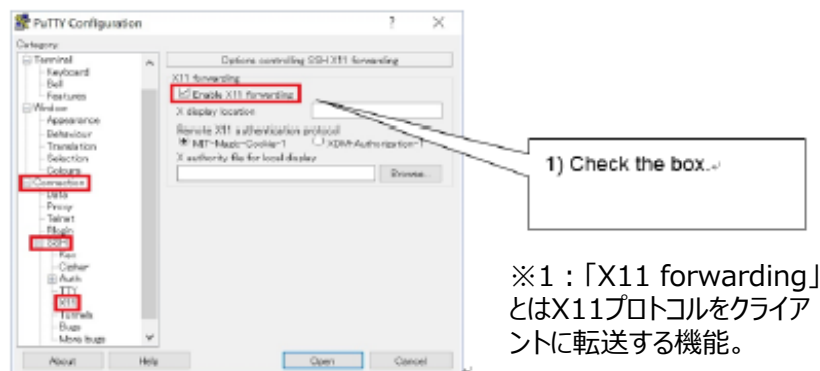
- ①PuTTY を起動する。Categoryから「Connection」→「SSH」→「Auth」から「Browse」ボタンをクリックし、PuTTYgen で作成し保存した秘密鍵を選択する。

- ②Categoryから「Session」をクリックし、「Host Name(or IP address)」にログインノードのホスト名を入力する。「Saved Sessions」に名前を入力し、「Save」ボタンをクリックし設定内容を保存する。2回目以降のログイン時は保存した名前を選択し、「Load」ボタンをクリックする。

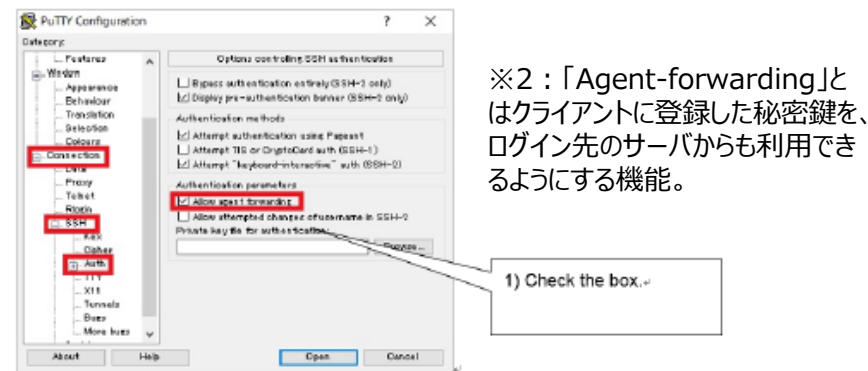


ローカルアカウントで「富岳」にログインする 5/5

- ③ログインノードへ接続時にX11 forwarding機能(※1)を有効とする場合は「Open」をクリックする前に「Connection」→「SSH」→「X11」を開き「Enable X11 forwarding」にチェックを入れる。

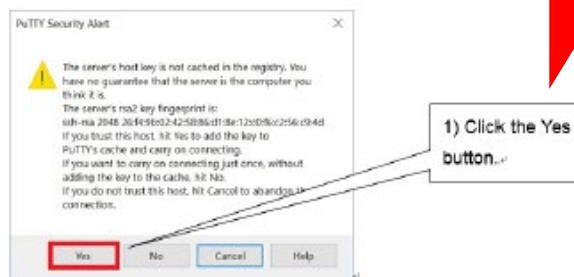


- ④ログインノードへ接続時にAgent-forwarding機能(※2)を有効とする場合は「Open」をクリックする前に「Connection」→「SSH」→「Auth」を開き「Allow agent forwarding」にチェックを入れる。



- ⑤「Open」ボタンをクリック。ログインノードへの接続が開始される。

- ⑥初回ログイン時、ホスト鍵の登録について、確認画面が表示されます。「はい(Y)」をクリックします。



- ⑦ローカルアカウント名とパスフレーズを入力し、ログインノードにログインする。

```
login as: user_name # ローカルアカウント名を入力
Authenticating with public key "imported-openssh-key"
Passphrase for key "imported-openssh-key": passphrase # パスフレーズを入力
Last login: Tue Mar 27 09:57:12 2018 from xxx.xxx.xxx.xxx
login$
```

以上で「富岳」が利用できる。
なお「富岳」のログインシェルは/bin/bash。

「富岳」にファイルを転送する

「富岳」にファイルを転送する

例：WinSCPを利用したファイル転送方法（Windows利用）

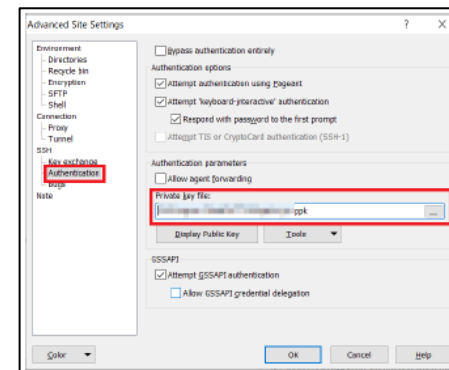
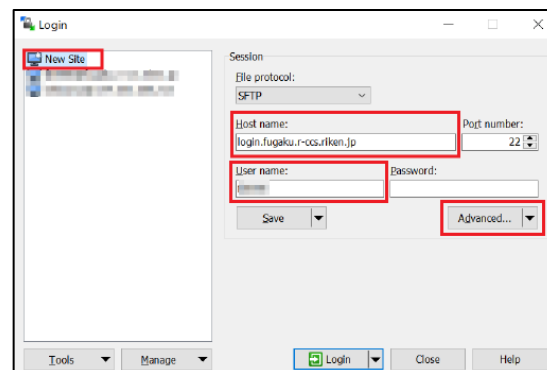
※ファイル転送プログラム(scp/sftp)を利用する場合は「スーパーコンピュータ「富岳」スタートアップガイド」参照。

<https://www.hpci-office.jp/fugaku/user-info/user-guide.pdf>

①「WinSCP」をPC
にインストールする。

② WinSCPを起動し[New Site]を選択。
・「Host name」にログインノードのホスト
（login.fugaku.r-ccs.riken.jp）を入力。
・「User name」にユーザ名を入力。
・[Advanced...]をクリック

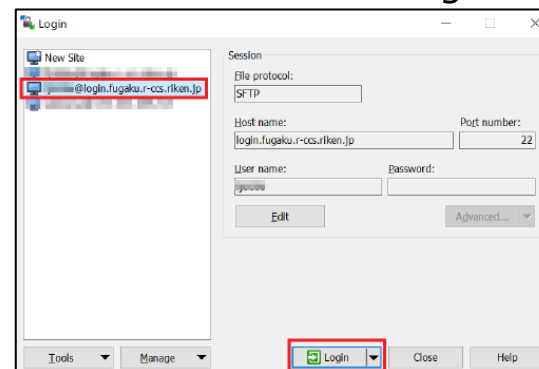
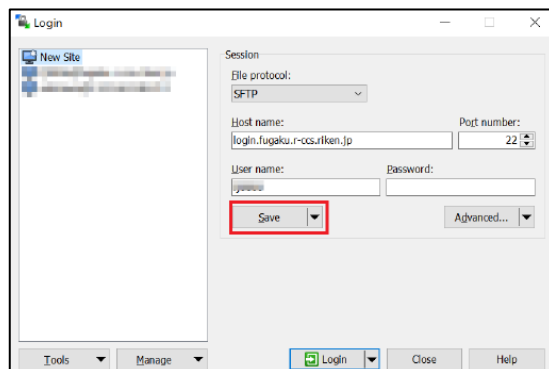
③ [Authentication]の「Private key
file」にputtyの秘密鍵ファイル名を設定
し、[OK]をクリック。



④「Save」をクリックし、設定値を保存。

⑤ 保存した設定値を選択し「Login」をクリック。

⑥ 接続完了後、エクスプローラに
似た画面が表示され、ファイルを
ドラッグ＆ドロップして転送できる
ようになる。



※大規模データの高速転送
の方法は「富岳ウェブサイト」
の「高速転送ガイド」参照。

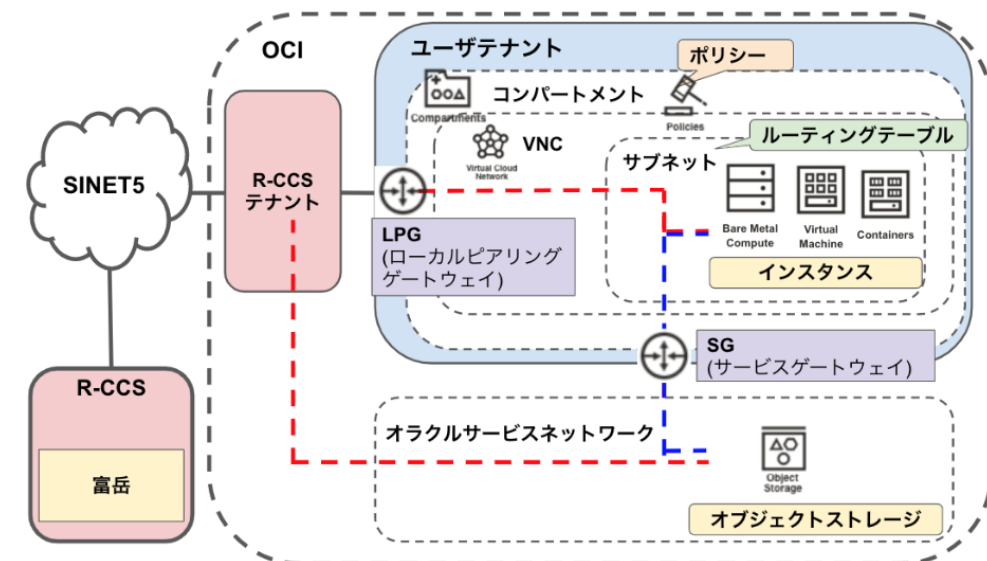
Oracle Cloud Infrastructureとの連携

「富岳」利用者は理化学研究所 計算科学研究センター(R-CCS)に「Oracle Cloud FastConnect Service」を申請すると、R-CCSとOracle Cloud Infrastructure(OCI)間の専用回線を経由したデータ転送を無償で利用できる。

申請手続き・注意事項

- ・「Oracle Cloud Infrastructure」の契約締結がOracle社と別途必要。
- ・OCIテナントは必ずJapan East(Tokyo)リージョンに作ること。
- ・「Oracle Cloud FastConnect Service」の詳細と申請は以下を参照のこと。

<https://hudtech.r-ccs.riken.jp/ocisf/html/index.html>



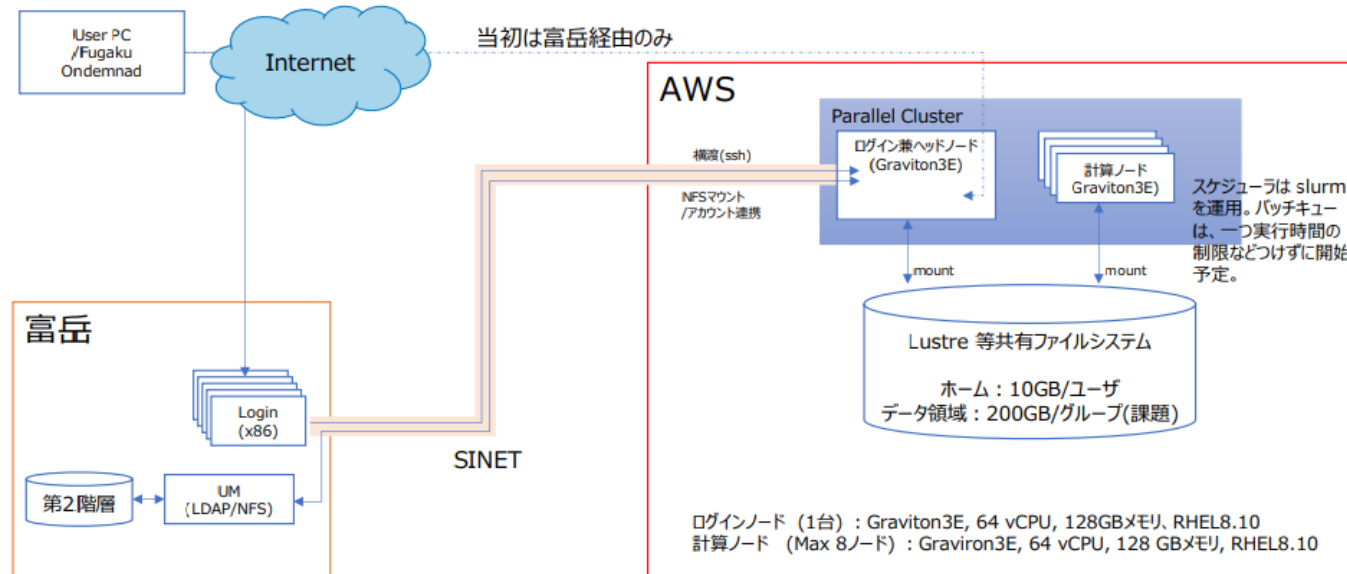
【サービスのメリット】

- R-CCSとOCI間の転送をよりセキュアに利用できる。
- OCIからの読み出しと書き込みに要する転送料金が無料。
- R-CCSから発行されたプライベートIPアドレスを利用してセキュアにインスタンスを利用できる。

「バーチャル富岳」の試験環境（サテライト富岳）

理化学研究所 計算科学研究センターは、「富岳」のCPUである「A64FX」と互換性がありAWSが提供するCPUである「Graviton」を対象として、「富岳」向けに整備されたソフトウェア群のうち、利用頻度の高いものを抽出し、それらのバイナリを一体化して「バーチャル富岳」として配布している。また、「Amazon EC2 Hpc7g インスタンス」を中核としたクラウドリソースを「バーチャル富岳」の試験環境(サテライト富岳)として提供している。

- 「サテライト富岳」とは、R-CCSが提唱する「バーチャル富岳」の実証・開発環境として整備された、商用クラウド上に「富岳」と同等のソフトウェアスタックを構築した計算機システム。
- 「富岳」利用者は誰でも利用可能。
- 例えば、「富岳」上でアプリケーション（シミュレーション）の研究開発を行い、その成果を用いて、商用クラウド上で実際の製品/商品の開発を行う際、その移植性や商用クラウドでの性能の事前検証用として、「サテライト富岳」が利用できる。



サテライト富岳利用手引書

利用にあたっては、「富岳ウェブサイト」内の手引書を参照ください。

https://www.fugaku.r-ccs.riken.jp/doc_root/ja/user_guides/SatelliteFugakuUserGuide/

出典 : https://www.riken.jp/pr/news/2024/20240805_1/index.html

https://www.fugaku.r-ccs.riken.jp/doc_root/ja/guidances/SystemReport_202407.pdf ※「富岳ウェブサイト」内資料

「富岳」で動作することが確認された商用ソフトウェア 1/3

「富岳」で動作することが確認された商用ソフトウェアです（2025/9/10時点）。

(1) 「富岳」にインストール済みの商用ソフトウェア※

詳しい利用条件や利用方法は、下記をご参照ください。

https://www.r-ccs.riken.jp/fugaku/docs/software/isv_software-main/ja/build/html/index.html

① ライセンス購入不要で利用可能なソフトウェア

| No | 分野 | ソフトウェア名 | 説明 | 提供企業等 | 備考 |
|----|-------|-------------|---|-------------------|----|
| 1 | 化学 | Gaussian | 汎用第一原理量子化学パッケージ。1 ノード内での並列実行のみ可能。利用申請が必要。 プリポスト環境では「GaussView」が利用可能。 | Gaussian, Inc | |
| 2 | 汎用可視化 | AVS/Express | 汎用可視化ソフトウェア。プリポスト環境（リモートでの実行）または ユーザーPC環境（ローカルでの実行）において利用可能。 | サイバネットシステム株式会社 | |
| 3 | 性能分析 | Vampir | 並列アプリケーションの性能解析と可視化のためのフレームワーク。ログインノード、プリポスト環境においてアカデミックライセンスの Vampir が利用可能（商業利用は不可）。利用申請が必要。 | GWT-TUD GmbH | |
| 4 | 画像処理 | Kombyne | シミュレーションと同時に可視化処理を行う「In-Situ可視化」向けツール。FORTRAN や C/C++ のシミュレーション・コードに Kombyne API を組込んで利用。 | Intelligent Light | |

※：理化学研究所による「富岳」での利用開始に向けた取組みを元に記載しています。

「富岳」で動作することが確認された商用ソフトウェア 2/3

(1) 「富岳」にインストール済みの商用ソフトウェア※ (つづき)

② ライセンス購入すれば利用可能なソフトウェア

| No | 分野 | ソフトウェア名 | 説明 | 提供企業等 | 備考 |
|----|-------|------------------------|--|--|------------------------------|
| 5 | 流体解析 | CONVERGE | 熱流体解析プログラム。 | Convergent Science (販売代理店：株式会社IDAJ) | 提供停止中 |
| 6 | | Cradle CFD scFLOW | 熱流体解析ソフトウェア「Cradle CFD」の非構造格子系熱流体解析システム「scFLOW」ソルバー。 | 株式会社ソフトウェアクレイドル | |
| 7 | | EXAPARTICLES/ FLOW | 粒子法を用いた高精度な鋳造解析ソフトウェア。 | 富士通株式会社 | 旧名称: COLMINA CAE 粒子法鋳造解析 |
| 8 | | Simcenter STAR-CCM+ | 統合マルチフィジックスソリューション。 | Siemens Digital Industries Software | |
| 9 | | Ansys Fluent | 汎用熱流体解析ソフトウェア。ソルバー機能のみ提供。 | Ansys, Inc. | |
| 10 | 構造解析 | Ansys LS-DYNA | 陽解法および陰解法ソルバが実装された汎用の衝撃・構造解析ソフトウェア。 | Ansys, Inc. | |
| 11 | 電磁界解析 | Poynting | 有限差分時間領域法を用いた電磁波解析ソフトウェア。 | 富士通株式会社 | 提供停止中 |
| 12 | | EXAMAG LLG シミュレータ | 大規模マルチスケール磁界シミュレータ。 | 富士通株式会社 | 旧名称: COLMINA CAE 磁界シミュレータ |
| 13 | 化学 | Amber | 生体分子の分子動力学(MD)計算のための力場群と、これらの力場をシミュレーションするためのMDプログラム群。 | University of California, San Francisco | |
| 14 | | VASP | 擬ポテンシャルと平面波基底を用いた第一原理電子状態計算ソフトウェア。 | VASP Software GmbH | |

※：理化学研究所による「富岳」での利用開始に向けた取組みを元に記載しています。

「富岳」で動作することが確認された商用ソフトウェア 3/3

(1) 「富岳」にインストール済みの商用ソフトウェア※1 (つづき)

② ライセンス購入すれば利用可能なソフトウェア (つづき)

| No | 分野 | ソフトウェア名 | 説明 | 提供企業等 | 備考 |
|----|------|---------|--|-----------------|----|
| 15 | 数式処理 | MATLAB | 科学技術計算のための数値解析ソフトウェア環境。富岳フロントエンドサーバー向けに、インストール済みのMATLAB環境(Intel版)を用意。既にライセンスを所有されている方は、利用申請とライセンスのアクティベーションをすれば利用可能。 | MathWorks, Inc. | |

(2) 「富岳」にインストールおよびライセンス購入することで利用可能なソフトウェア※2

詳しくはヘルプデスク https://www.hpci-office.jp/user_support/helpdesk にお問合わせください。

| No | 分野 | ソフトウェア名 | 説明 | 提供企業等 | 備考 |
|----|------|---------------------------------------|--|--------------------------------|----|
| 16 | 構造解析 | ESI Virtual Performance Solution(VPS) | 衝突安全・機構応力・強度剛性・疲労耐久・振動音響など多領域の解析ソフトを包括する構造解析総合ソリューションソフトウェア。 | ESI Group | |
| 17 | その他 | NAG Fortran Compiler | Fortran 77、Fortran 90、Fortran 95、Fortran 2003、Fortran 2008 のコンパイラ。 | Numerical Algorithms Group Ltd | |

※1：理化学研究所による「富岳」での利用開始に向けた取組みを元に記載しています。

※2：富士通株式会社による公表情報(出典は下記)と、理化学研究所による「富岳」での利用開始に向けた取組みを元に記載しています。

<https://www.r-ccs.riken.jp/wp/wp-content/uploads/2023/01/commercial-software202301.pdf>

「富岳」で無償で利用できるソフトウェア

「富岳」で無償で利用できるソフトウェアです（2025/9/10時点）。

ソフトウェアは随時整備されるため最新情報は下記の「ソフトウェア検索」のページをご参照ください※。

| | | | | |
|--|---|--|--|---|
| <p>シミュレーション</p> <div> <p>■ 分子動力学</p> <ul style="list-style-type: none"> • ERmod • GENESIS • GROMACS • LAMMPS • MODYLAS • N2P2 • NAMD • OCTA </div> <div> <p>■ 量子化学</p> <ul style="list-style-type: none"> • ABINIT-MP • Gaussian(*1) • GaussView(*1) • NTChem • NWChem • SMASH </div> <div> <p>■ 計算生物学</p> <ul style="list-style-type: none"> • AutoDock Vina • rDock </div> <div> <p>■ 流体解析</p> <ul style="list-style-type: none"> • FDS • FFVHC-ACE • FFX • FrontFlow/blue • OpenFOAM • Smokeview </div> <div> <p>■ 構造／衝突解析</p> <ul style="list-style-type: none"> • FrontISTR </div> <div> <p>■ 電磁界解析</p> <ul style="list-style-type: none"> • OpenFDTD </div> <div> <p>■ 物性物理</p> <ul style="list-style-type: none"> • ABINIT • AkaiKKR • ALAMODE • C-Tools • CP2K • HΦ • mVMC • OpenMX • PHASE/0 • Phonopy • PIMD • Quantum ESPRESSO • SALMON • SIESTA </div> | <p>データサイエンス</p> <div> <p>■ 機械学習</p> <ul style="list-style-type: none"> • Chainer • Horovod • Keras • oneDNN • PyTorch • scikit-learn • TensorFlow </div> <div> <p>■ バイオインフォマティクス</p> <ul style="list-style-type: none"> • bcftools • bedtools2 • biobambam2 • BWA • dssp • mapssplice2 • Picard • Pysam • SAMtools • Star </div> <div> <p>■ 気象／気候</p> <ul style="list-style-type: none"> • NEMO • SCALE • WRF </div> <div> <p>■ ケモインフォマティクス</p> <ul style="list-style-type: none"> • RDKit </div> <div> <p>■ 統計解析/データ分析</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cbc • pandas • PyDMD • R </div> <div> <p>■ 量子コンピュータ</p> <ul style="list-style-type: none"> • Qulacs • RIKEN-braket </div> | <p>プリポスト</p> <div> <p>■ 汎用可視化ソフトウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> • AVS/Express(*1) • GMT • gnuplot • GrADS • ImageMagick • Matplotlib • MOLDEN(*3) • Ncview • OVITO • ParaView • POV-Ray • PyMOL • Seaborn • VESTA • VisIT • VMD • XCrysDen </div> <div> <p>■ メッシュ操作</p> <ul style="list-style-type: none"> • METIS • ParMETIS </div> | <p>ライブラリ等</p> <div> <p>■ MPI通信</p> <ul style="list-style-type: none"> • MPICH-Tofu • 富士通MPI </div> <div> <p>■ 数値計算</p> <ul style="list-style-type: none"> • Batched BLAS • BLAS • cblas • Eigen • EigenExa • FFTW • LAPACK • Libxc • Lis • mptensor • PETSc • PFAPACK • SC-SUMMA-25D • ScaLAPACK • z-Pares • 富士通数値計算ライブラリ </div> <div> <p>■ 画像処理</p> <ul style="list-style-type: none"> • ImageJ • KIERTAA • Kombyne(*1) • Mesa • OpenCV </div> <div> <p>■ 数式処理</p> <ul style="list-style-type: none"> • MATLAB(*2) </div> <div> <p>■ データ形式</p> <ul style="list-style-type: none"> • h5py • h5z-zfp • HDF5 • htsslib • NetCDF • phdf5 </div> <div> <p>■ Python関連</p> <ul style="list-style-type: none"> • ASE • Hypothesis • mpi4py • NumPy • pip • pyGPs • pytest • scipy • xarray </div> <div> <p>■ その他のライブラリ等</p> <ul style="list-style-type: none"> • Adios2 • blitz • Boost • Git LFS • RAJA • Spglib </div> | <p>開発環境</p> <div> <p>■ コンパイラ/インタプリタ</p> <ul style="list-style-type: none"> • GNUコンパイラ • Julia • LLVM • Omni XcalableMP • OpenJDK • Python • Ruby • 富士通コンパイラ </div> <div> <p>■ その他開発環境</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cmake • Dask • Gnome3 • GNU Global • JupyterHub • JupyterLab • Kokkos • RStudio • screen • tmux • VSCode </div> <div> <p>■ 性能分析</p> <ul style="list-style-type: none"> • Darshan • Darshan-util • Linaro Forge(*1) • NVIDIA profiler • TAU • Vampir(*1)(*3) </div> <p>システム基盤</p> <div> <p>■ OS</p> <ul style="list-style-type: none"> • Red Hat Enterprise Linux </div> <p>【凡例】</p> <p>(*1) 「富岳」にインストール済みで無償で利用可能な商用ソフトウェア</p> <p>(*2) ユーザ所有のライセンスをアクティベーションすれば利用可能な商用ソフトウェア</p> <p>(*3) アカデミックライセンスで商業利用は不可</p> |
|--|---|--|--|---|

※：ソフトウェア検索のページ：https://www.hpci-office.jp/using_hpci/hardware_software

(6) 利用報告書を提出する



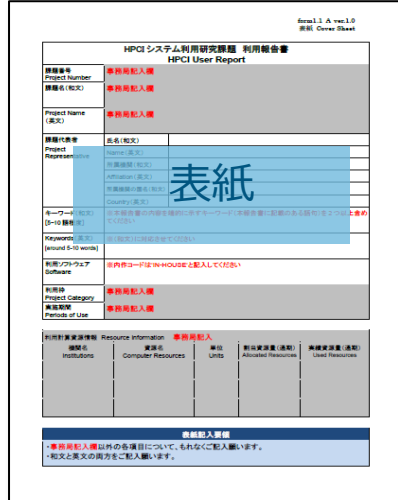
利用報告書を提出する 1/3

利用報告書を提出する。「富岳」利用者は必ず提出のこと。
「産業有償課題」と「産業試行有償課題」はHPCIポータルへの利用報告書の公開／非公開の選択が可能。
利用報告書の提出が期限内に実施されなかった場合は、原則として、当該課題実施者全員に対して課題代表者としての応募資格停止、および新しい課題への参加資格停止のペナルティが科せられる。

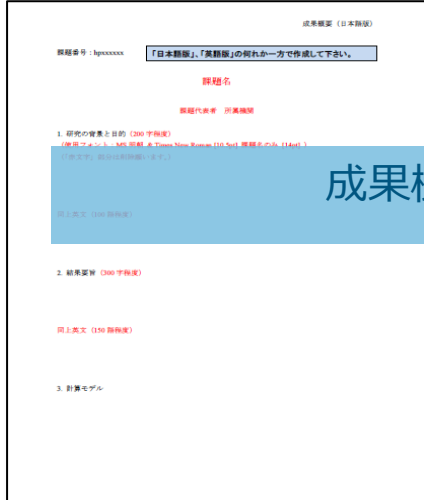
| 利用報告書の提出 | 産業課題 | 産業機動的課題 | 産業試行課題 | ファーストタッチオプション | 産業有償課題 | 産業試行有償課題 |
|--|--|--|--|---------------|---|----------|
| | | | | | | |
| 利用報告書の提出 ・課題終了後60日以内に提出 ・利用報告書はHPCIポータル上に公開。 （ただし産業有償課題と産業試行有償課題で利用報告書の非公開を選択した場合はのぞく） | 義務あり 様式A （表紙＋成果概要（原則2～10ページ）＋要約）を記入し提出 | 義務あり 様式B （表紙＋成果概要（原則1ページ以内））を記入し提出 | 義務あり Webから実施内容、実施結果、アンケートに選択式で回答する簡単な手続き | | 義務あり 様式B （表紙＋成果概要（原則1ページ以内））を記入し提出 HPCIポータルへの非公開を選択可 | |

利用報告書を提出する 2/3

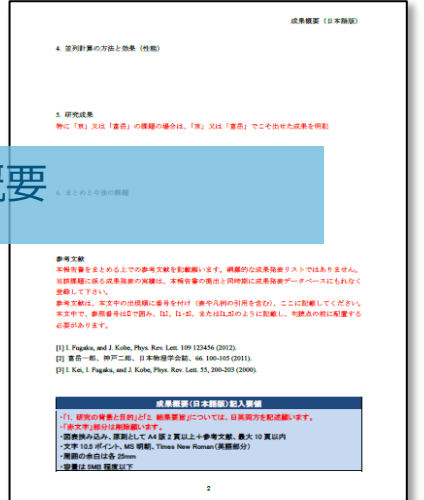
利用報告書：様式A（表紙＋成果概要（原則2～10ページ）＋要約）



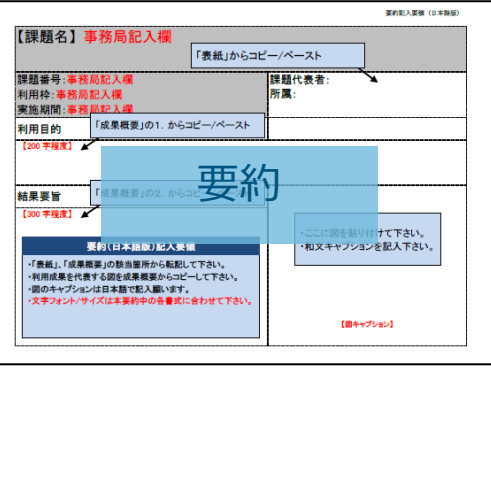
表紙



成果概要




要約

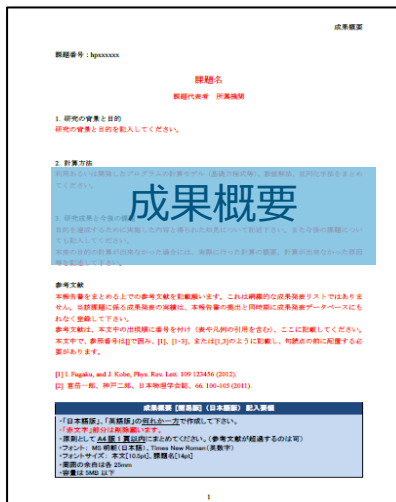


要約

利用報告書：様式B（表紙＋成果概要（原則1ページ以内））



表紙



成果概要

利用報告書を提出する 3/3

ファーストタッチオプション専用のWeb入力フォーム（利用報告書＋利用者アンケート）

利用報告書

「実施内容」と「実施結果」を選択式で回答。
利用報告書はWebで公開。

ファーストタッチオプション用利用報告書(Webフォーム入力)
灰色枠内箇所＝自動表示(利用者による入力・修正等不要)

HPCI システム利用研究課題 利用報告書
HPCI User Report

| | | | | |
|---------------------------------|--------------------|--|--|---|
| 課題番号 Project Number | | | | |
| 課題名(和文) | | | | |
| Project Name (英文) | | | | |
| 課題代表者 Project Representative | 氏名(和文) | | 【選択肢】 GROMACS LAMMPS MODYLAS Quantum ESPRESSO FrontFlowblue VASP GENESIS OpenFOAM LANCSD NVCAM SCALE OpenMX FrontFlow/red AMBER ERmod NTChem CUBE FrontISTR CPMD TOMBO | 灰色部分は自動 入力され入力・修 正不要。課題代表 者の各項目は自動 入力されるが修正 が可能。 |
| | Name(英文) | | | |
| | 所属機関(和文) | | | |
| | Affiliation(英文) | | | |
| 所属機関の国名(和文) | | | | |
| Country(英文) | | | | |
| 利用ソフトウェア Software | ブルダウ選択 又はその他() | | | |
| 利用枠 Project Category | | | | |
| 実施期間 Periods of Use | | | | |

| 利用計算資源情報 Resource Information | | | | |
|-------------------------------|---------------------------|-------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 機関名 Institutions | 資源名 Computer Resources | 単位 Units | 割当資源量(過期) Allocated Resources | 実績資源量(過期) Used Resources |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

1. 実施内容 (複数選択可)
☐ プログラムの移植・動作検証
☐ プログラムの性能評価・最適化
☐ 小規模計算の試行
☐ その他 ()

2. 実施結果
☐ 当初計画以上に達成できた。
☐ 当初計画通り達成できた。
☐ やや達成できなかった。
☐ 達成できなかった。

実施内容と実施結果は
選択式で回答

利用者アンケート

選択式の利用者アンケート。「富岳」の利便性向上に役立てられる。
アンケートの回答は非公開。

ファーストタッチオプションの利用者アンケート

* 設問は全 12 問です。すべてにご回答ください。
* アンケートの回答内容は公開されません。

Q.1 ファーストタッチオプションをご存知でしたか？ (複数回答可)
☐ HPCI の Web サイト
☐ SNS の HPCI 公式アカウント
☐ HPCI 事務局からのお知らせメール
☐ メーリングリスト (具体的に:)
☐ 知人からの紹介
☐ 上司・指導教官等からの紹介
☐ その他 ()

Q.2 今回、「富岳」を利用した理由は何ですか？ (複数回答可)
☐ 普段利用している資源では計算資源が不足していた
☐ 普段利用している計算資源では利用できないソフト
☐ 「富岳」が無償で利用できるため
☐ 「富岳」の利用に対する技術支援が充実しているため
☐ 将来、「富岳」システムが利用できるか確認したかった
☐ 将来、大規模な計算を「富岳」で実行したいため

Q.3 申請から利用開始までの手続きはいかがでしたか？
☐ 簡単だった
☐ 煩雑だった
☐ どちらとも言えない
※可能であれば「意見等」をお書き添えください。

Q.4 申請から利用開始までにかかった時間はいかがでしたか？
☐ 短時間で利用を開始できた
☐ 利用開始までに時間がかかった
☐ どちらとも言えない
※可能であれば「意見等」をお書き添えください。

Q.5 普段使用している計算資源/サービスは何か？ (複数回答可)
☐ 所属組織の PC/ワークステーション
☐ 所属組織の HPC システム
☐ 公的機関 (大学、国研等) の HPC システム
☐ 商用の計算資源提供サービス (AWS 等の商)
☐ 商用のアプリケーション利用サービス (Rescale)
☐ わからない
☐ 回答できない

Q.6 普段使用している計算資源/サービスと比較した場合の「富岳」の性能はいかがでしたか？
☐ 良かった
☐ 普通
☐ 悪かった
☐ 回答できない
※可能であれば「悪かった」と思った理由をおしえて

Q.7 普段使用している計算資源/サービスと比較した場合の「富岳」の利用環境 (ソフト・ライブラリ、技術支援など)
☐ 良かった
☐ 普通
☐ 悪かった
☐ 回答できない
※可能であれば「悪かった」と思った理由をおしえて

Q.8 「富岳」を利用して、思ったことを選んでください (複数回答可)
☐ 必要十分な計算資源を利用できた
☐ 計算資源量が不足した
☐ 必要な計算資源をタイムリーに利用できた
☐ 「富岳」を利用するまでに時間を要した
☐ 利用期間が十分だった
☐ 利用期間が不足した
☐ 必要なソフト・ライブラリ等が準備されていた
☐ 必要なソフト・ライブラリ等が不足していた
☐ 必要な技術支援を受けることができた
☐ 必要な技術支援を受けることができなかった
☐ 「富岳」上でのソフトの性能が十分だった
☐ 「富岳」上でのソフトの性能が十分ではなかった
☐ その他 ()
※チェックした項目を補足するご意見がございましたら

Q.9 「富岳」利用にあたり生じた問題をどのように解決しましたか？
☐ 問題は発生しなかった
☐ ヘルプデスクを利用し、解決した
☐ ヘルプデスクを利用せずに、解決した
☐ ヘルプデスクを利用したが、解決しなかった
☐ ヘルプデスクを経由して専門の支援を受け、解決した
☐ ヘルプデスクを経由して専門の支援を受けたが、解決しなかった
☐ ヘルプデスクを知っていたが、相談しなかった (理由:)
☐ ヘルプデスクを知らなかった

Q.10 「富岳」の運用面で改善を希望する点がありますか？ (複数回答可)
☐ 質問対応等のサポートの充実
☐ 手引きなどのドキュメントの充実
☐ 性能最適化等の高度なサポートの充実
☐ 利用できるアプリケーションの充実 (希望アプリ名:)
☐ その他 ()
☐ 特にな

Q.11 「富岳」の利用制度面で改善を希望する点がありますか？ (複数回答可)
☐ 申請から利用開始までの手続きの簡素化・迅速化
☐ 有効利用においても課題代表者名や課題名等が公開される点
☐ 利用目的に制約 (研究開発の要否が求められる等) がある点
☐ その他 ()
☐ 特にな

Q.12 今後も「富岳」あるいは HPCI の計算資源の利用を希望しますか？
☐ 継続して利用したい
☐ 今後の利用に向けて検討中
☐ 未定
☐ 希望しない
※可能であれば「希望しない」理由をおしえてください。

利用報告書・アンケートへのご協力ありがとうございます。

(7) 成果公開を行う



成果公開を行う

課題の種類によっては論文発表等の成果公開を行う義務がある。課題終了後3年以内に下記のいずれかの方法で研究成果を公開すること。研究成果の公開が期限内に実施されなかった場合は、原則として、当該課題実施者全員に対して課題代表者としての応募資格停止、および新しい課題への参加資格停止のペナルティが科せられる。

| 成果公開の義務 | 産業課題 | 産業機動的課題 | 産業試行課題 | ファーストタッチオプション | 産業有償課題 | 産業試行有償課題 |
|--|------|---------|--------|---------------|--------|----------|
| | | | | | | |
| 成果公開の義務 課題終了後3年以内に、次のいずれかの方法により研究成果を公開すること。ただし3年以内に公開することが困難な場合は、申請により最長1年成果公開を延期することができる。 <成果公開の方法> A) 課題番号が明記されている査読付き論文(査読付きプロシーディングス、博士学位論文を含む) B) HPCI 利用研究成果集(一般財団法人高度情報科学研究機構発行の電子ジャーナル) C) 企業の公開技術報告書(産業課題のみ) D) 特許(特許権の取得) | 義務あり | 義務あり | — | — | — | — |

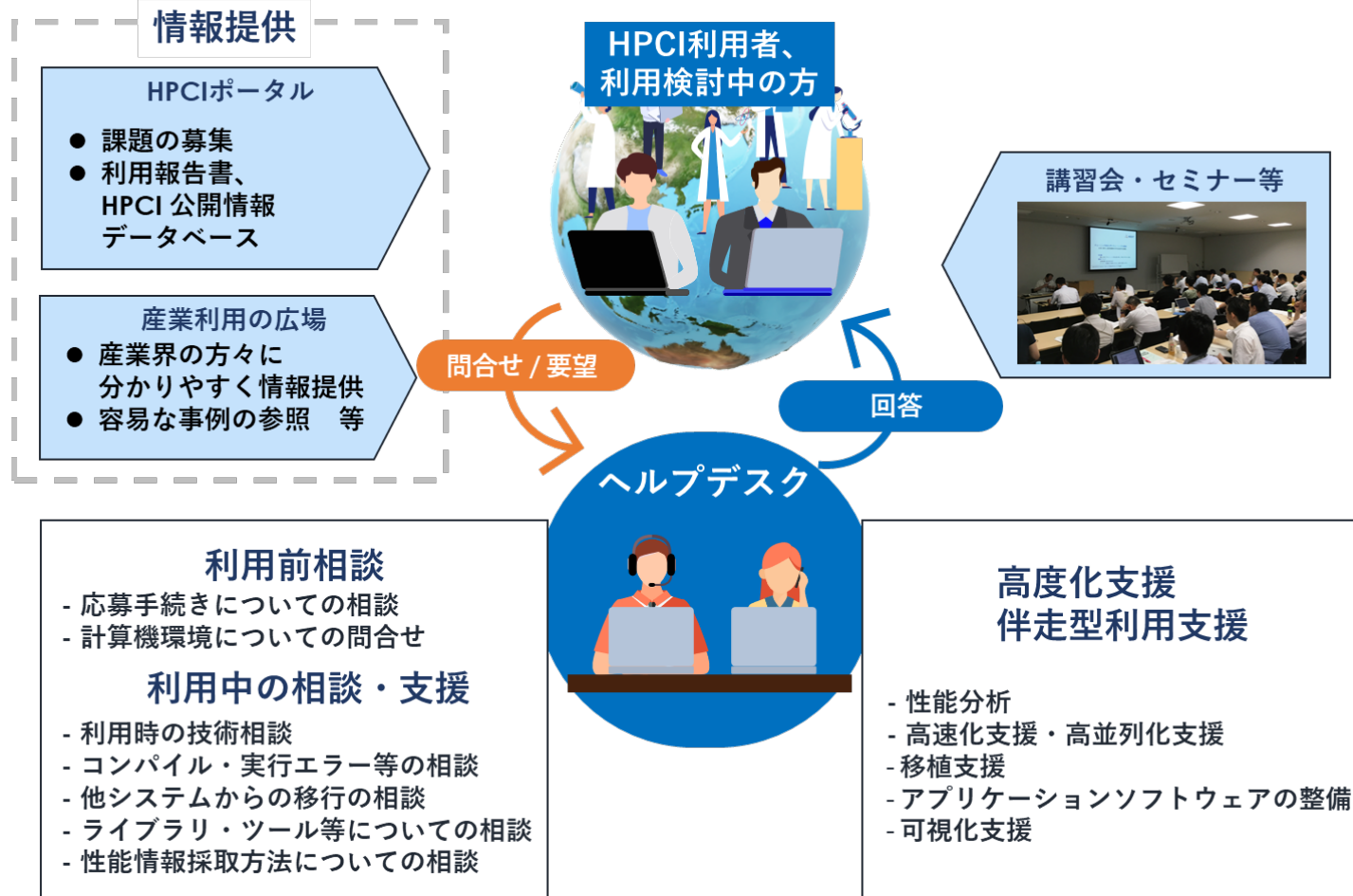
出典：https://www.hpci-office.jp/for_users/procedure_achievements_publication

支援サービス



希望者が受けられる支援

高度情報科学技術研究機構（RIST）では利用前相談、利用中の相談・支援、高度化支援を実施中。
また講習会やセミナーの開催や、「産業利用の広場」や「HPCIポータルサイト」で情報を発信中。
また「富岳」利用者に対して月1回オンラインで富岳ユーザブリーフィングを開催し、最新の運用情報の提供や意見交換を実施中。



「富岳」利用者向け 富岳ユーザブリーフィング

- 毎月第2木曜日15時～
- 最新の運用情報の提供、意見交換など
- Web会議で開催

伴走型利用支援

自社の業務に活用するためにスパコンを利用した研究・開発を実施または計画し、自社だけでは達成困難な、成果の創出やスパコンを活用できる人材の育成を目標とする会社を対象として、「富岳」およびHPCI第2階層システムを利用した研究・開発の全フェーズにわたり伴走的に支援を行う。支援形態は「定期型」と「随時型」の2種類。

| 定期型と随時形で共通 | | | |
|------------|----------|---|---|
| 募集要領 | | https://www.hpci-office.jp/user_support/industrial_support/accompany_support | |
| 募集概要 | 応募資格 | 国内に登録された企業に所属する方 | |
| | 支援費用 | 無償 | |
| | 支援利用報告書 | 支援終了後60日以内に簡単な「伴走型利用支援 支援利用報告書」を提出 ※「富岳」の有償利用で利用報告書非公開を選択された方は、伴走型利用支援の報告書も非公開（提出は必要） | |
| | 支援件数 | 定期型と随時型を合わせて年間数件程度 | |
| | 利用回数 | 複数回の利用が可能。ただし、過去に伴走型利用支援を利用した回数が少ない企業（事業部門）を優先 | |
| | | 定期型 | 随時型 |
| | 募集スケジュール | <ul style="list-style-type: none"> ・申請は随時受付 ・審査は年2回(2月末、8月末それぞれまでの受付分) ・審査期間は申請締切の翌月の初旬～下旬 ・採択結果は申請締切の翌月の下旬に通知 | <ul style="list-style-type: none"> ・申請は随時受付 ・受付後、速やかに審査を実施 ・採択結果は受付後1～2週間程度で通知 |
| | 支援期間 | 最長6か月間 | 最長2か月間 |
| | 審査 | RISTおよび有識者が書類審査およびヒアリングにより募集要領の「6. 審査」に基づいて審査を実施 | RISTが書類審査により募集要領の「6. 審査」に基づいて審査を実施 |

出典：https://www.hpci-office.jp/user_support/industrial_support/accompany_support

事業者による支援サービス

RISTでの無償支援に加えて、「富岳」を円滑に利用するための事業者による「富岳」の支援サービスがあります。サービス事業者の支援のもと、これまで技術・体制面や手間等の理由により活用できなかった「富岳」の活用が可能となります。「富岳」の知名度を活かした自社アピールや、自社計算機資源の不足をタイムリーに補うなど「富岳」利用の幅が広がります。

1. 「富岳」アプリケーションサービス課題

「富岳」アプリケーションサービス課題は、サービス事業者が「富岳」上で様々なサービス（アプリケーションやその利用支援、移植・チューニング支援等の有償サービス）を提供する形態です。利用者は事業者を通じてより円滑に「富岳」をご利用いただけます。

2. 「富岳」クラウド的利用

「富岳」クラウド的利用は、利用者と事業者が共同で「富岳」の課題を申請し、事業者の様々な支援（課題申請、計算環境・アプリケーション環境の設定、結果の解析等）を受けながら、円滑に「富岳」を利用する形態です。

| | 課題申請 | 利用 | 利用支援 | 利用報告書 |
|--------------------|-------------------|-----------------|----------------------------|-------------------|
| 従来の利用 | 課題代表者 | 利用者 | 高度化支援 伴走型利用支援 等の無償支援 | 課題代表者 |
| 「富岳」アプリケーションサービス課題 | 事業者 | 事業者 または 利用者※ | 事業者の有償での高度な支援※ | 事業者 |
| 「富岳」クラウド的利用 | 事業者 または 課題代表者※ | 事業者 または 利用者※ | 事業者の有償での高度な支援※ | 事業者 または 課題代表者※ |

※サービスを提供する事業者との契約内容によります。支援内容については各事業者までご相談ください。

支援サービスを行う事業者情報：https://www.hpci-office.jp/for_users/fugaku_cloud

各種情報



HPCIアクセスポイント

東京と神戸に設置されているHPCIシステムの利用拠点。
セキュリティに配慮した作業用個室が無償で利用可能。

| HPCIアクセスポイント | |
|----------------------|--|
| アクセスポイント神戸 (AP神戸) | Web : https://www.j-focus.or.jp/ap-kobe/about-ap-kobe.html 住所 : 兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-28 計算科学センタービル1階 公益財団法人計算科学振興財団(FOCUS)内 ポートライナー「計算科学センター」駅より徒歩3分 |
| アクセスポイント東京 (AP東京) | Web : https://www.hpci-office.jp/for_users/hpci_info_manuals/access_points/ap_tokyo 住所 : 東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル7階 一般財団法人高度情報科学技術研究機構(RIST)東京事務所内 浅草線・大江戸線「大門駅」A2出口より徒歩2分 JR線・東京モノレール「浜松町駅」北口より徒歩5分 三田線「御成門駅」A2出口より徒歩6分 |

- セキュリティに配慮した作業用個室(それぞれ 2 室)が利用可能
- HPCI計算資源に接続可能な端末を設置
- 専用回線による高速アクセスとそれによる大容量データの高速ダウンロードが可能
- 専任の技術スタッフが利用相談・利用支援に対応
- 個室利用料金： 無償
- 貸出用ハードディスクの利用料金： 無償(但し、運送をご希望の場合、その費用は利用者が負担)
- SSL-VPNにより自社からリモートで安全にHPCIアクセスポイントを利用することも可能

出典 : https://www.hpci-office.jp/for_users/hpci_info_manuals/access_points

「富岳」利用に関する情報・相談窓口 1/2

「富岳」に関する情報サイト、相談窓口、情報発信は下記の通り。

| 情報サイト | |
|---------------------------------|--|
| 富岳百景 | https://fugaku100kei.jp/ HPCIの広報サイト。「富岳」やHPCIのスーパーコンピュータを利用した研究成果で、研究者、研究テーマ等に焦点を当てて詳しく紹介。 |
| 産業利用の広場 | https://fugaku100kei.jp/industrial_user/ 富岳百景の産業界の方への情報発信サイト。スーパーコンピュータを活用し研究開発を加速したい企業の方に、HPCIの利用事例や利用成果、利用方法などを分かりやすく紹介。 |
| HPCIポータルサイト | https://www.hpci-office.jp/ 課題選定・利用促進業務を担う登録施設利用促進機関「一般財団法人高度情報科学技術研究機構(RIST)」が運営しているHPCIポータルサイト。課題申請に関する情報、選定課題、利用報告、その他利用促進のための様々な情報を掲載。 |
| 理化学研究所 計算科学研究センター (R-CCS) | https://www.r-ccs.riken.jp/fugaku/ 「富岳」を開発・運用する理化学研究所 計算科学研究センターの「富岳」サイト。「富岳」の施設・技術・研究活動など富岳に関するあらゆる情報を掲載。 |
| 富士通株式会社 「富岳」の紹介ページ | https://www.fujitsu.com/jp/about/businesspolicy/tech/fugaku/ 理化学研究所と共に「富岳」を開発した富士通株式会社の「富岳」紹介ページ。「富岳」の仕様や、カタログ、資料、イベント情報などを掲載。 |
| 公益財団法人 計算科学振興財団 (FOCUS) | https://www.j-focus.or.jp/ 公益財団法人計算科学振興財団(FOCUS)のサイト。「富岳」をはじめとするスパコンの産業利用促進や研究支援、計算科学分野の振興のため産学利用への環境整備等を行う。「富岳」及びHPCIの産業利用拠点であるHPCIアクセスポイント神戸を運営。 |

「富岳」利用に関する情報・相談窓口 2/2

| 相談窓口 | |
|---|---|
| ヘルプデスク | <p>メール：helpdesk@hpci-office.jp Web：https://www.hpci-office.jp/user_support/helpdesk 電話：078-940-5795 Webフォーム、メールによる受付：24時間 電話による受付：平日9:00～12:00/13:00～17:30 対面相談（要事前連絡）も可（理化学研究所 計算科学研究センター内 R101） 「富岳」をはじめとするHPCI利用者の一元的相談窓口としてあらゆる相談に対応。</p> |
| 情報発信 | |
| HPCI Newsletter | <p>HPCIの公募・利用に関する情報、講習会、イベント情報等を配信中。 どなたでも申し込み可能。 https://www.hpci-office.jp/about_hpci/hpci_newsletter から申込受付中。</p> |
| X（旧Twitter） | <p>HPCIに関する情報を発信中。スーパーコンピュータ「富岳」(公式) @Fugaku_hpci をフォローください。</p> |
| 幅広い企業・研究機関等との「富岳」を通じた連携、異分野と情報科学との融合、産業界との本格的な連携等に関するお問い合わせ | |
| 「富岳」Society 5.0 推進拠点 | <p>メール：r-ccs-s5support@ml.riken.jp Web：https://www.r-ccs.riken.jp/about/s5-office/ 理研計算科学研究センター(R-CCS)のSociety 5.0対応の先鋒部隊であり、Society 5.0を担う新たな主体との連携窓口。</p> |

「富岳」のサービスレベル目標 1/3

スーパーコンピュータ「富岳」のサービスレベルの目標は下記の通り。
理化学研究所計算科学研究センターでは目標維持に向けて改善・運用を実施中。
出典：https://www.hpci-office.jp/materials/f_sla_slo_jp.pdf

| 項目 | | サービスレベルの目標 |
|------|----------|--|
| 可用性 | サービス提供時間 | 「富岳」は1年の5%までの時間を定期保守などの保守時間と定め、残りの95%の時間をサービスに提供。未達分については計算資源量の補填は行わない。ただし、有償課題(一般/産業)、試行有償課題(一般/産業)については、配分資源量に応じて計算資源量を補填。 |
| | 計画停止 | 保守などの計画停止を行う場合には、2 週間前を目処に富岳ウェブサイトにて通知する。 |
| | 緊急保守 | セキュリティ対策やシステムの稼働に大きな影響がある場合には、緊急保守を行う。保守開始から3 時間以内を目処に富岳のウェブサイトにて通知する。 |
| サポート | 提供時間・方法 | 平日の9:00 から17:00 に障害・保守・お問い合わせ等の対応を行う。 サポートの受付は電子メール。 *サポート提供時間は、年末年始・理化学研究所の定める休業日を除く。 |

「富岳」のサービスレベル目標 2/3

| 項目 | | サービスレベルの目標 |
|-----|------------|--|
| 障害 | 障害検知・対応 | 障害検知は24 時間365 日行うが、利用者への障害通知やシステムの復旧作業は上記サポート提供時間内に行う。 |
| | 通知 | システム全体に影響を及ぼす障害のうち、サポート提供時間内に発生・検知したもののについては、発生を検知してから3 時間以内を目処に富岳ウェブサイトにて状況を通知する。サポート提供時間外の場合は、翌サポート提供時間の開始から3 時間以内を目処に富岳ウェブサイトにて状況を通知する。 |
| データ | データの保存 | 利用者のデータは冗長性(RAID6)を持つストレージに格納。 |
| | データのバックアップ | システムでは利用者のデータのバックアップは一切行わない。 |
| | データの消去 | 課題実施期間終了日から1 ヶ月後に課題に割り当てたデータ領域を消去する。 |
| | データのアクセス制限 | 利用者のデータは、他の利用者と共有するデータ領域に格納されており、UNIXのアクセス管理機能によってアクセス制限を実施。 |

「富岳」のサービスレベル目標 3/3

| 項目 | | サービスレベルの目標 |
|--------|-------|--|
| 計算資源 | 使用資源量 | 使用した計算資源量は、割り当てられたノード数と実行時間の積であるノード時間積で計算する。ノードの故障などにより実行が中断した場合は、中断までの時間を実行時間として計算する。 |
| | 資源返却 | 使用した計算資源は原則として返却しない。ただし、オペレーションミス等の計算科学研究センターの責任が明白な場合には資源の返却を検討する。 |
| | 優先度 | 原則として課題毎の優先度に従いFirst-Come First-Served(FCFS)でスケジューリングされる。 |
| セキュリティ | 取り組み | 「富岳」や施設のセキュリティに対する取り組みについてご確認いただける「セキュリティホワイトペーパー(※1)」を公開している。 ※1:「富岳」セキュリティホワイトペーパー https://www.r-ccs.riken.jp/wp/wp-content/uploads/2021/07/f_security_whitepaper_202107.pdf |
| | 脆弱性対応 | システムで使用しているソフトウェアで脆弱性が発見された場合は、計算科学研究センターが定めた対応基準に従ってセキュリティパッチの適用や対策を実施する。 |
| | 暗号化 | 「富岳」への通信はSSH やHTTPS により暗号化される。ストレージ上の利用者のデータは暗号化されない。 |

参考資料



参考資料 1 : 「富岳」の利用イメージ

初めて「富岳」を利用する際は、申請が簡単で審査が迅速な無償の「産業試行課題(ファーストタッチオプション)」から開始することを推奨。

事前準備

利用するアプリを検討し、自社の計算機や商用クラウドなどで動作を確認。

「富岳」利用

産業試行課題 (ファーストタッチオプション)

「富岳」を使ってみる。従来より簡単な手続きで審査も迅速。

随時募集

無償

利用報告書公開
(アンケート形式
の報告のみ)

産業試行課題

産業試行有償課題

「富岳」でのアプリケーションの動作検証、アプリ性能評価、必要資源量の見極め、計算の試行を行う。

随時募集

無償

利用報告書公開

有償

利用報告書非公開も可

産業機動的課題

小規模ではあるが、機動的な利用により成果の創出を狙う研究開発に資する課題を実施する。

随時募集
(採択は年4回)

無償

利用報告書公開・
レビューを伴う
成果公開の義務あり

産業課題

産業有償課題

「富岳」の機能・性能を有効に活用する、大規模な研究開発に資する課題を実施する。

定期募集

無償

利用報告書公開・
レビューを伴う
成果公開の義務あり

随時募集

有償

利用報告書非公開も可

参考資料 2 : 「富岳」産業利用申請チェックリスト



「富岳」産業利用申請チェックリスト
～ファーストタッチオプション～

ver2.0

上から順にチェックし、すべての項目がチェック ☒ されるよう進めます

オレンジ色: 課題参加者全員が実施

ピンク色: 課題代表者、副代表者が実施

HPCI-IDの作成
申請支援システム

HPCI-IDの作成はお済みですか?
課題の申請には、課題参加者全員のHPCI-IDが必要です。また、氏名、所属機関はこの後の本人確認時に使用します。身分証と同一になるようにご記入ください。
申請支援システム: <https://www.hpcl-office.jp/entry/>

☐

富岳アカウントの取得
FAAS

富岳アカウント申請システム(FAAS)アカウントの作成はお済みですか?
HPCI-ID、照合コードを入力し、FAASアカウントを作成します。
富岳アカウントの作成はお済みですか?
FAASにログインし、本人確認書類の提出、安全保障審査入力、誓約書への同意を行い、富岳アカウントを作成します。本人確認は5年間有効となります。富岳アカウントが発行されると、利用者にメールでクライアント証明書が届き、FAAS上で富岳アカウントを確認することができます。
FAAS: <https://apply.fugaku-ccs.riken.jp/>

☐

課題申請
申請支援システム

利用枠

利用枠は正しく設定されていますか?
企業の利用枠は「「富岳」産業試行課題(ファーストタッチオプション): 随時募集」です。

☐

所属長

所属長の名前、所属は正しく入力されていますか?
所属長は課題代表者と同じ所属で、課題代表者よりひとつ以上の上司である必要があります。

☐

連絡責任者

連絡責任者と課題代表者は別の方が入力されていますか?
連絡責任者は万が一課題代表者に連絡が取れない場合に課題代表者とは別の方をお願いします。連絡が取れる方であればHPCI-IDをお持ちでない方でも問題ありません。

☐

共用ストレージ

共用ストレージの申請は適切ですか?
共用ストレージは「富岳」・HPCI間で共通して利用可能な外部のストレージです。「富岳」ではローカルストレージがデフォルトで5TB(拡張可能)利用できます。ローカルストレージで課題実施に問題がなければ共用ストレージを申請する必要はありません。

☐

事務局確認

課題が申請されると、事務局が記入内容を確認します。
修正が必要な場合は事務局より修正依頼をお送りします。

☐

所属長確認
申請支援システム

事務局確認後、事務局より所属長宛に承認依頼をメールで送信します。
所属長に申請内容の確認と承認をお願いしてください。

☐

審査・採択通知

所属長確認後、審査が実施されます。審査が完了次第、課題代表者に採択通知をメールで送信しますので次に進んでください。

☐

安全保障審査入力、
誓約書の同意
FAAS

FAASにログインし、安全保障審査入力、誓約書への同意にチェックします。

☐

開始日の設定

事務局より開始日の連絡をしますので利用開始日を確定してください。

☐

利用開始

「富岳」ウェブサイトへアクセスし、利用を開始してください。

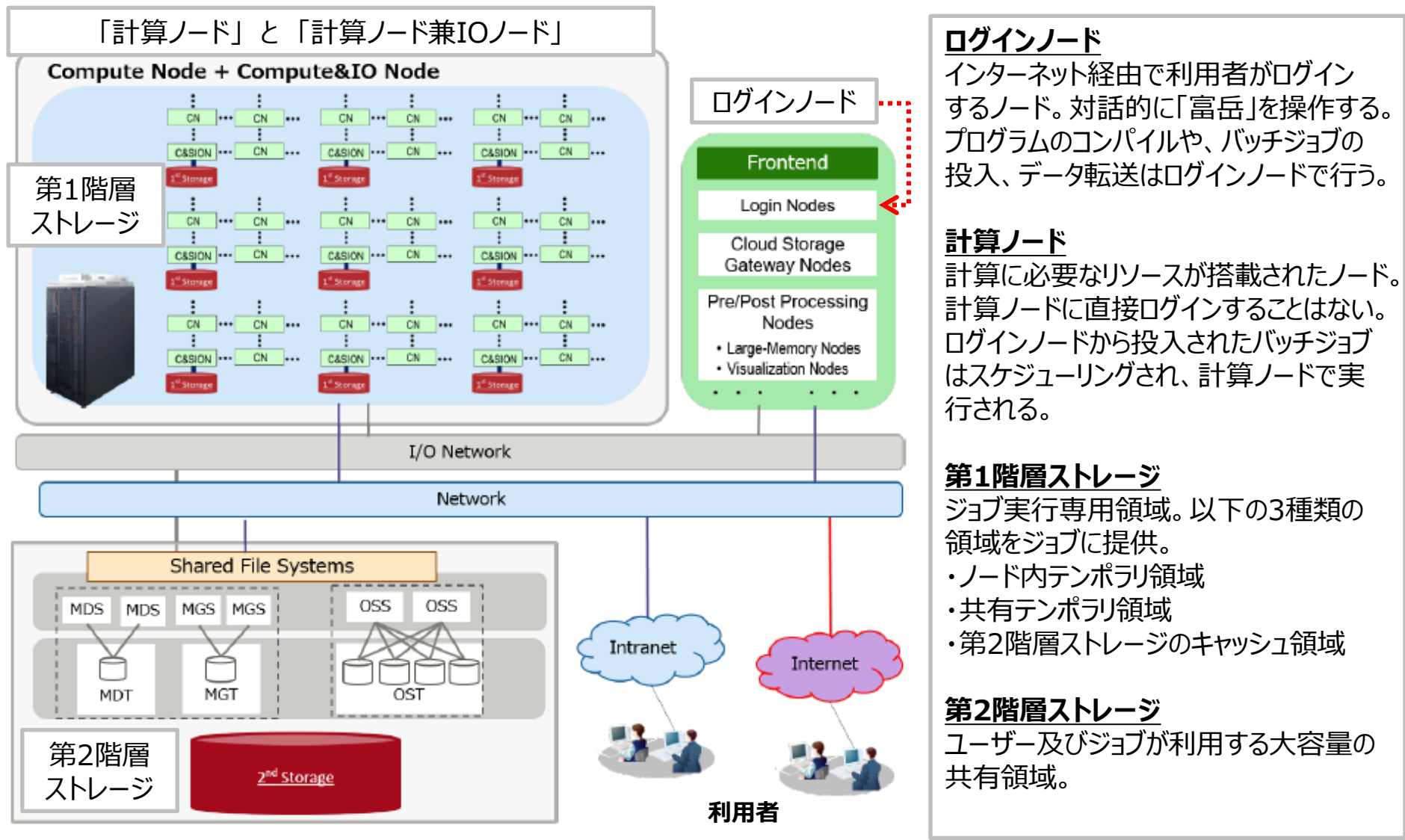
☐

ご不明な点はヘルプデスクまで helpdesk@hpcl-office.jp

「富岳」産業利用申請チェックリスト ～ファーストタッチオプション～
https://fugaku100kei.jp/industrial_user/fto_ck.pdf

- 「課題申請」～「利用開始」までの手続きとチェック項目をまとめたチェックリスト。
- 本資料はファーストタッチオプションを対象としているが、他の課題においても、利用開始までの流れは同様であり、参考となります。

参考資料 3 : 「富岳」の全体構成

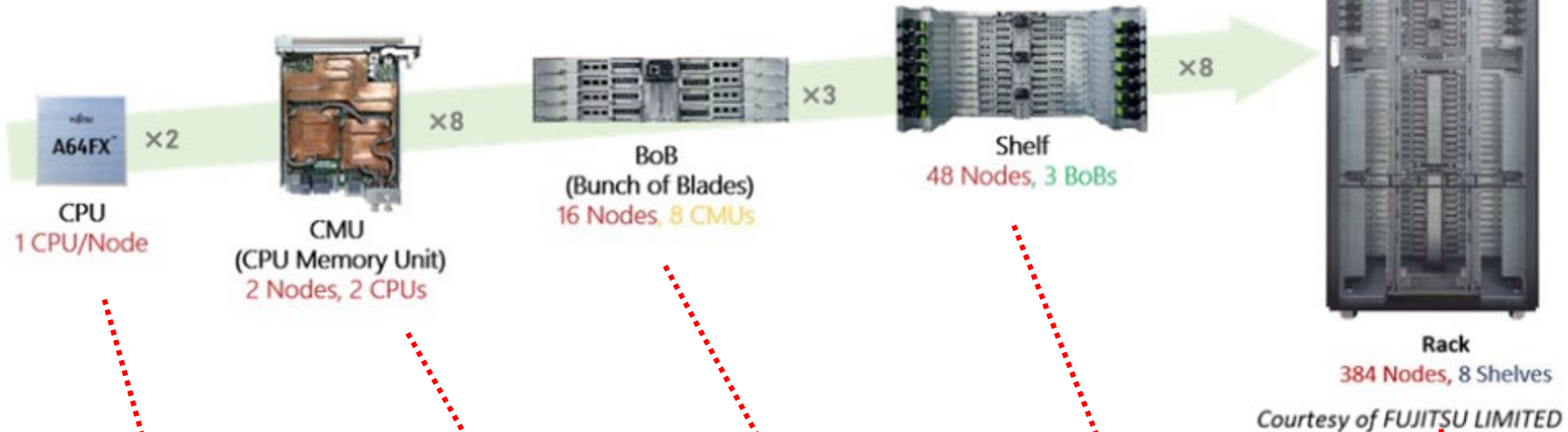


出典 : https://www.hpci-office.jp/application/files/3116/9448/3951/r06a_fugaku_seminar_system.pdf
<https://www.r-ccs.riken.jp/fugaku/system/>

参考資料 4 : 「富岳」の計算ノード

【富岳の仕様】

- 1ラックのノード数 : 384ノード
- 計算ラック数 : 432ラック (うち384ノードが396ラック、192ノードが36ラック)
- 総ノード数 : 158,976ノード



ノード※
「富岳」では1つのノードに1つのCPUを搭載。

CMU:CPU Memory Unit
1つのCMUに2つのCPUを搭載。

BoB:Bunch of Blades
1つのBoBに8つのCMUを搭載。

Shelf
1つのShelfに3つのBoBを搭載。

ラック
1つのラックに8つのShelfを搭載。

※ノードとは「結び目」や「節」を意味する単語で、スーパーコンピュータ分野では1つの管理単位をノードと呼ぶことが多い。
例えば、1つの基本ソフト (OS) が動作しているCPUやメモリの塊を指す。

出典 : https://www.hpci-office.jp/application/files/3116/9448/3951/r06a_fugaku_seminar_system.pdf
<https://www.r-ccs.riken.jp/fugaku/system/>

参考資料 5 : ストレージ構成 1/2

第1階層ストレージ

ジョブ実行専用領域。LLIO(Lightweight Layered IO-Accelerator)技術を利用した高速ファイルシステム。下記3種類の領域をジョブに提供。

| | |
|-------------------|--|
| ノード内テンポラリ領域 | ジョブに割り当てられたそれぞれの計算ノードで利用できるローカルな領域。 |
| 共通テンポラリ領域 | ジョブに割り当てられたノード間で共有できる領域。 |
| 第2階層ストレージのキャッシュ領域 | ジョブは第2階層ストレージに直接アクセスするのではなく、第1階層ストレージ上にある第2階層ストレージのキャッシュにアクセス。 |

第2階層ストレージ（ローカルストレージ）

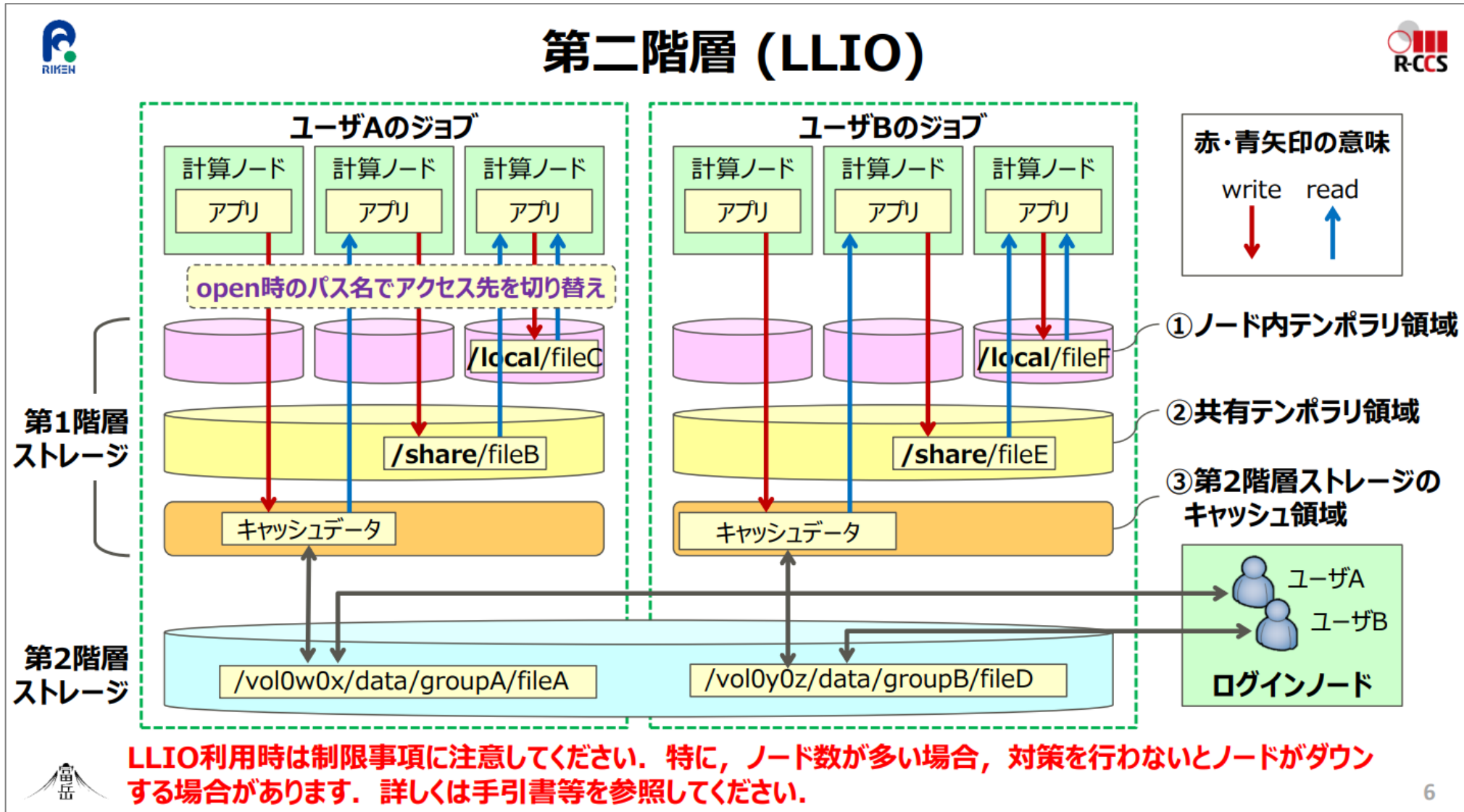
ユーザー及びジョブが利用する大容量の共有領域。ホーム領域やデータ領域などから成る。システム側でバックアップは行わないため、各自でバックアップを行う必要がある。

- データ領域の容量の初期値は5TB/1課題。容量の拡大が必要な拡大申請を行う。
- 過度な拡大を防ぐため段階的に拡大。
初期値 : 5TB → 10TB → 50TB → 100TB → 200TB → 400TB
- 申請手続きの詳細は「富岳ウェブサイト」のTOPの左メニュー>「利用者支援」>「申請」を参照のこと。

第3階層ストレージ

商用クラウドストレージ(要別途契約)／HPCI共用ストレージ

参考資料 5 : ストレージ構成 2/2



参考資料 6 : 「富岳」利用に関する機関と役割 1/3

「富岳」利用に関する機関と役割

- HPCIシステム構成機関（次ページ参照）

HPCIのユーザに対して、HPCIシステムを構成する計算機やストレージ等の計算資源を提供する機関。

令和6年10月現在、理化学研究所 計算科学研究センター・情報統合本部、大学（北海道大学、東北大学、筑波大学、最先端共同HPC基盤施設（JCAHPC）、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学）の情報基盤センター等、海洋研究開発機構（JAMSTEC）、産業技術総合研究所、統計数理研究所。

- プライマリセンター

HPCIアカウントを発行する機関。HPCI-ID申請時に利用者が指定。どの機関を選択するかは任意。

- 最寄りセンター

各課題の課題代表者（もしくはその代理としての副代表者）が、本人の顔写真付き身分証明書を提示して、対面で本人確認を行う機関。プライマリセンターと同一機関を最寄センターとする必要はなく、近隣など都合の良い最寄センターを任意で選択可。

- HPCI運用事務局

HPCI利用の課題選定および共通窓口を行う機関。

- 認証局運用機関

HPCI環境上で利用される電子証明書を発行する機関。

参考資料 6 : 「富岳」利用に関係する機関と役割 2/3

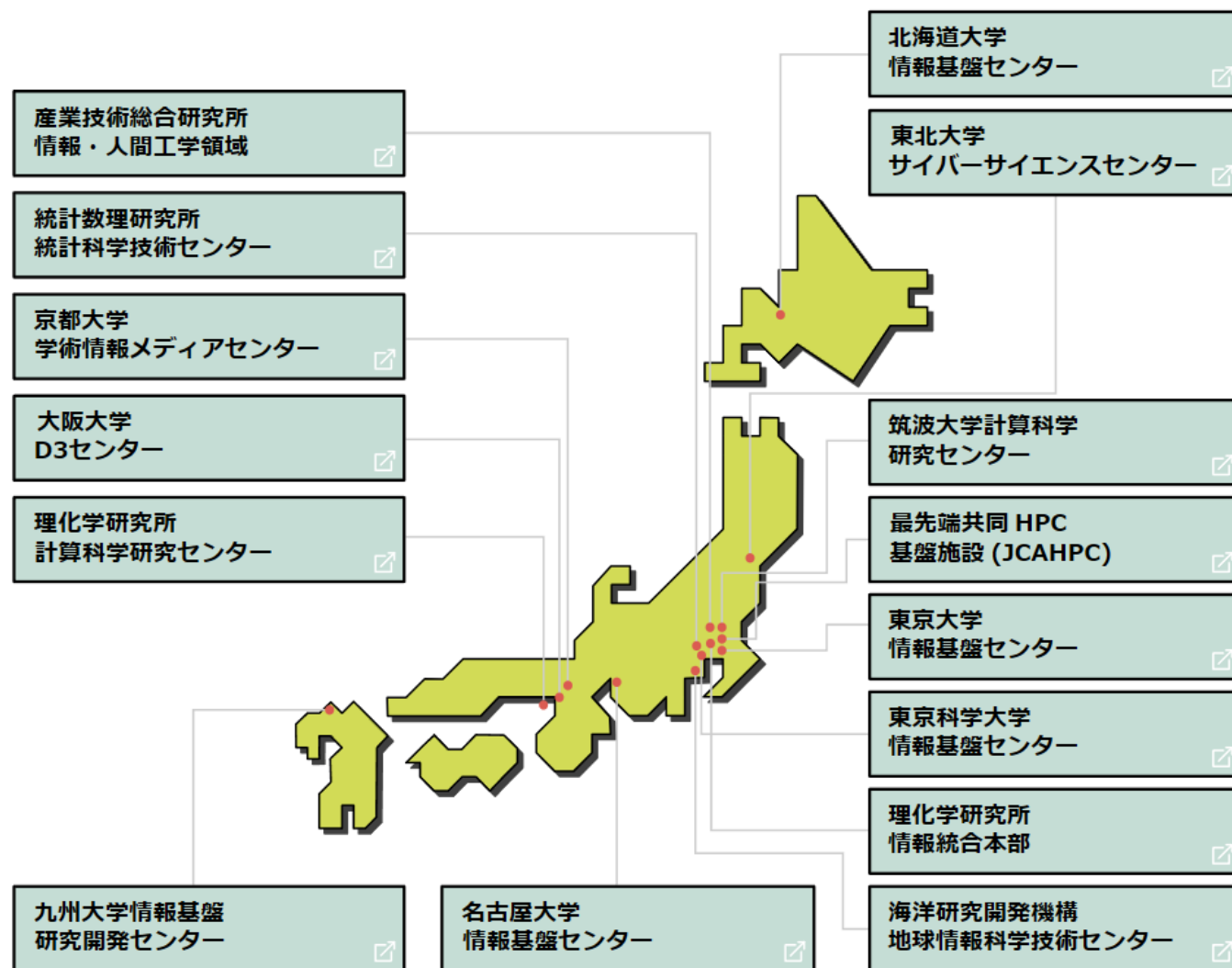


図. HPCIシステムを構成する計算機資源を提供するシステム構成機関 (2025年度)

参考資料 6 : 「富岳」利用に関する機関と役割 3/3

2024/10/1現在

| 関係機関 | 役割 | | | | |
|---|--------------|---------------|-------------|---------------|-------------|
| | HPCI 構成機関 | プライマリ センター | 最寄り センター | HPCI 運用事務局 | 認証局 運用機関 |
| 理化学研究所 計算科学研究センター | ○ | ○ | | | |
| 北海道大学 情報基盤センター | ○ | ○ | ○ | | |
| 東北大学 サイバーサイエンスセンター | ○ | ○ | ○ | | |
| 筑波大学 計算科学研究センター | ○ | ○ | ○ | | |
| 東京大学 情報基盤センター | ○ | ○ | ○ | | |
| 東京科学大学 情報基盤センター | ○ | ○ | ○ | | |
| 名古屋大学 情報基盤センター | ○ | ○ | ○ | | |
| 京都大学 学術情報メディアセンター | ○ | ○ | ○ | | |
| 大阪大学 D3センター | ○ | ○ | ○ | | |
| 九州大学 情報基盤研究開発センター | ○ | ○ | ○ | | |
| 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) | ○ | ○ | ○ | | |
| 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 研究企画室 研究情報利用推進グループ | ○ | ○ | ○ | | |
| 最先端共同HPC基盤施設 (JCAHPC) | ○ | | | | |
| 統計数理研究所 統計科学技術センター | ○ | ○ | | | |
| 理化学研究所 情報統合本部 | ○ | ○ | | | |
| 高度情報科学技術研究機構 (RIST) 東京事務所 | | | ○ | | |
| 高度情報科学技術研究機構 (RIST) 神戸センター | | | ○ | | |
| 高度情報科学技術研究機構 (RIST) 神戸センター HPCI運用事務局 | | | | ○ | |
| 国立情報学研究所 HPCI認証局 | | | | | ○ |